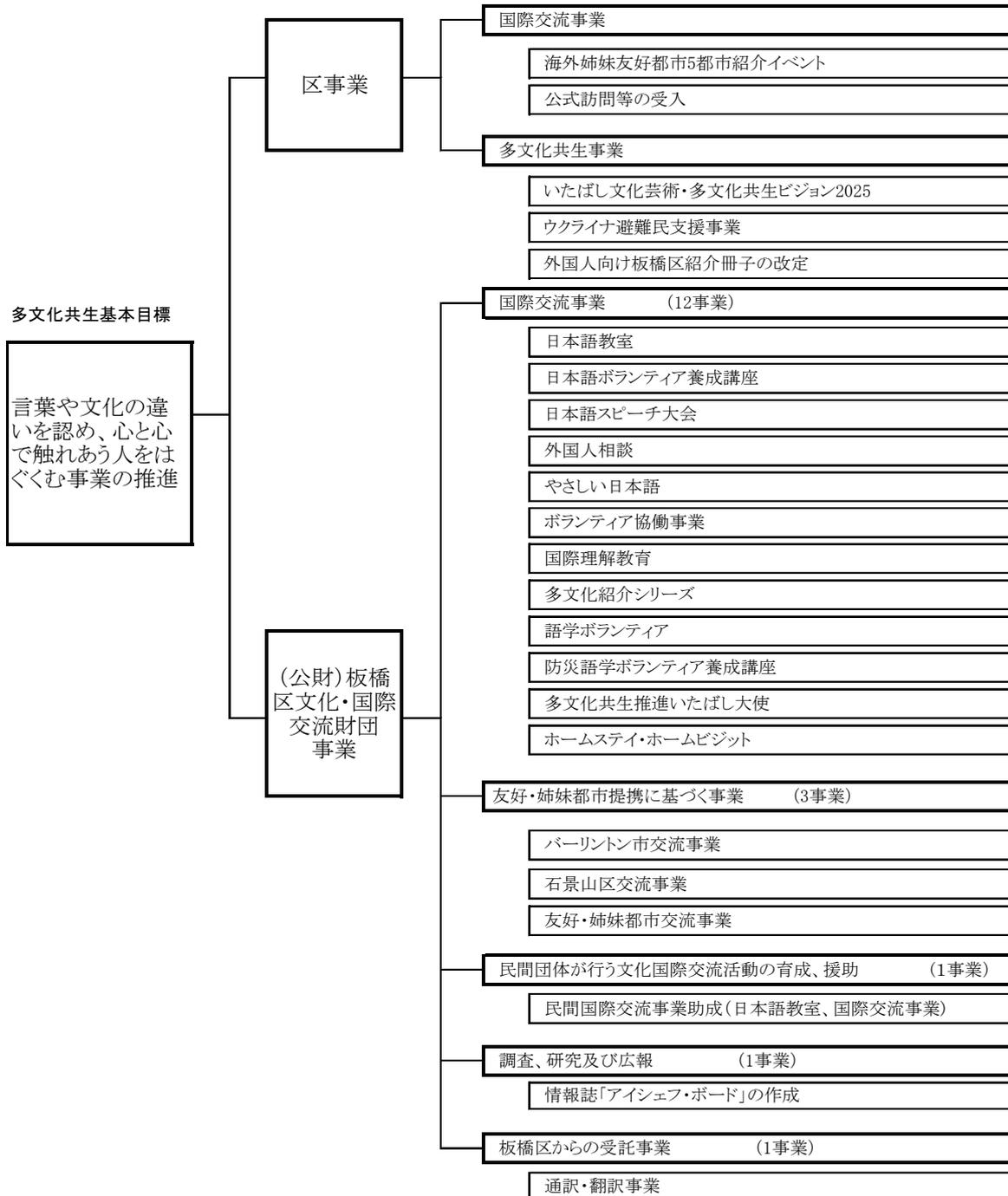


# 1. 令和5年度国際交流等事業体系

区は、令和3年3月に「いたばし文化芸術多文化共生ビジョン2025」を策定し、文化芸術振興と多文化共生推進に取り組んでいます。その中で、多文化共生基本目標を「言葉や文化の違いを認め、心と心で触れあう人をはぐくむ」と設定しています。



## 2. 板橋区の国際化の現状

### 2-1 外国人住民数の状況

板橋区における2023年1月1日現在の外国人住民数は28,372人で、板橋区総人口の568,241人に対する構成比率は約5.0%を占めている。前年同期から2,709人の増（前年度比約110.6%）となっており、その国籍・地域数は124にもものぼる。

2021年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で新規入国者数が大幅に減少したことなどが要因となり8年ぶりに区内外国籍住民数は減少に転じ、2022年も減少したが、2023年に増加に転じた。これは板橋区だけでなく東京都全体における外国籍住民数の増減に連動している。

板橋区における外国籍住民の国籍・地域の内訳は、中国が14,382人（約50.7%）と最も多く、次いで韓国・朝鮮が3,364人（約11.9%）、ベトナムが1,783人（約6.3%）、ネパールが1,688人（5.9%）の順である。2018年まで3番目に多かったフィリピンは1,503人（約5.3%）で5番目となっている。前年同月と比べ、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンは割合が減少した一方、ネパールは割合が増加した。

10年間で大きく増加しているのは、ベトナム（約4.1倍）、ネパール（約4.8倍）である。

表1：板橋区内 外国籍住民数の状況（10年間の国籍別登録者の推移。各年1月1日現在）  
2023年1月1日現在の上位10ヶ国を記載

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	ネパール	フィリピン	台湾	ミャンマー	米国	タイ	フランス	その他	総数
2014年	8,875	3,112	436	349	1,255	480	181	249	251	143	1,383	16,714
2015年	9,483	3,086	635	469	1,307	632	191	271	250	162	1,536	18,022
2016年	10,625	3,122	1,037	640	1,333	760	240	295	259	170	1,666	20,147
2017年	12,157	3,220	1,238	826	1,386	859	281	309	277	176	1,938	22,667
2018年	13,253	3,402	1,421	1,024	1,442	883	329	289	294	211	2,171	24,719
2019年	14,177	3,545	1,657	1,148	1,545	975	335	345	316	247	2,469	26,759
2020年	15,367	3,724	1,754	1,259	1,618	1,114	381	390	324	261	2,590	28,782
2021年	14,436	3,448	1,731	1,261	1,563	969	399	372	344	265	2,466	27,254
2022年	13,188	3,289	1,658	1,334	1,502	919	475	358	326	272	2,342	25,663
2023年	14,382	3,364	1,783	1,688	1,503	987	703	382	350	329	2,901	28,372

（単位：人）

図1：板橋区内 外国籍住民数の推移（10年間の国籍別登録者の推移。各年1月1日現在）  
2023年1月1日現在の上位10ヶ国を記載

(単位:人)

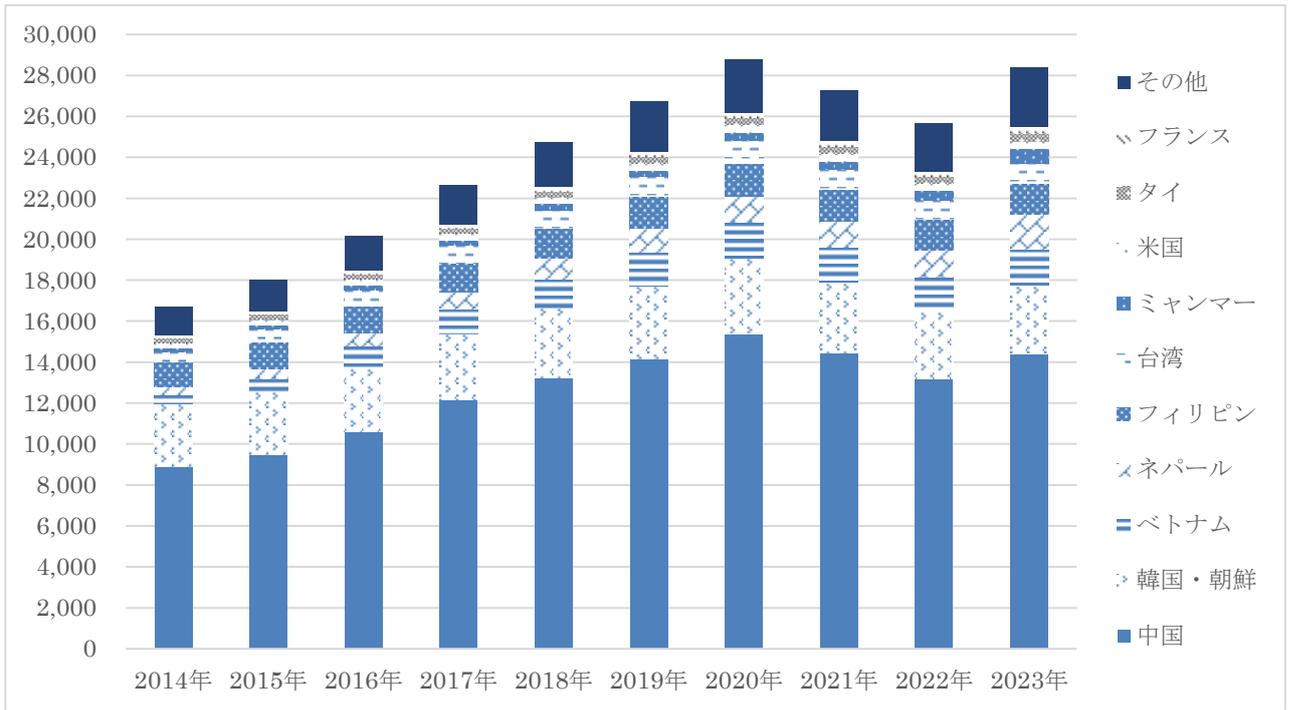
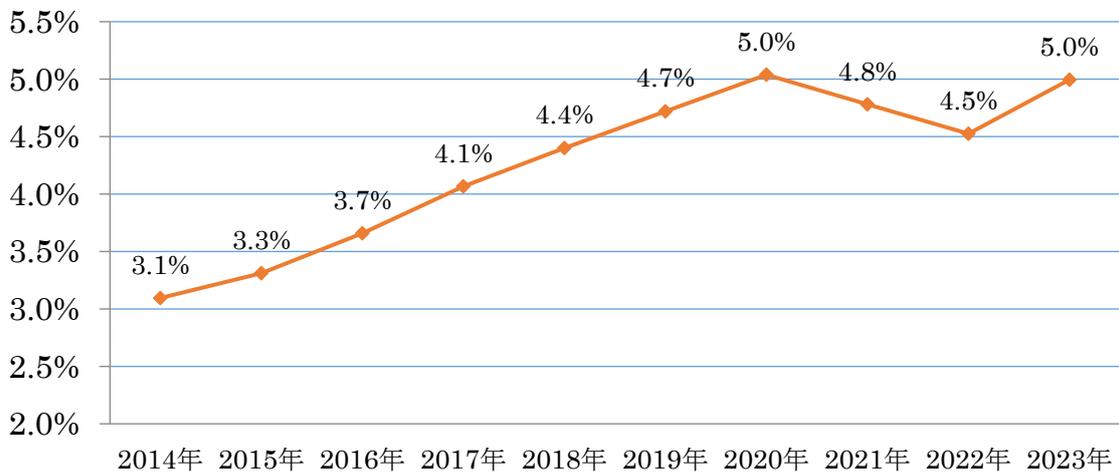


図2：板橋区内 外国籍住民の割合の推移(各年1月1日現在)



## 【参考 東京都全体との比較】

東京都内で暮らす外国人は、2020年に過去最高の577,329人となったが、2021年、2022年は新型コロナウイルス感染症拡大による入国規制等により減少した。2022年は2020年より6万人弱減少し517,881人となったものの2023年になると581,112人となり、再び増加に転じた。

東京都内で暮らす外国人は、83%以上が23区に集中している。住民数上位10ヶ国で見ると、東京都の8位にインドが入っているのに対し、板橋区ではインドは10位以内に入っておらず、代わりに10位以内にフランスが入っている。

2023年現在、東京23区中、板橋区は外国籍住民数が6番目に多い区である。外国籍住民割合で見ると14番目に多い。(人数は各年とも1月1日時点)

表2：【参考】東京都全体 外国籍住民数の状況（2023年1月1日現在の上位10ヶ国を記載）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	総数
	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	ネパール	米国	台湾	インド	ミャンマー	タイ		
2023年	230,294	85,595	37,055	33,817	28,325	19,575	19,522	15,996	13,884	8,084	88,965	581,112

(単位：人)

## 2-2 福祉・医療施策

表3：板橋区内 外国人住民の国民健康保険  
加入者数の推移（各年4月1日現在）

2012年7月9日施行の法律改正により住民基本台帳に登録された外国人で、他の健康保険、厚生年金等に参加していない者（一部を除く）は、国民健康保険、国民年金等の公的制度に参加することが法律で義務づけられている（国民年金は満20歳以上）。

板橋区における外国人の国民健康保険加入者数は、2020年まで徐々に増えていたが、区内外国人数と同様2021年2022年は減少している。2023年再び増加に転じ、4月1日現在11,977人となった。国籍・地域別内訳で見ると、中国が6,739人と最も多く、次いでネパールが1,039人、韓国・朝鮮が973人、ベトナムが650人となっている。

2023年	11,977
2022年	10,513
2021年	11,889
2020年	13,766
2019年	13,022
2018年	12,882
2017年	12,343
2016年	11,211
2015年	9,945
2014年	9,029

(単位：人)

### 3. 板橋区における国際交流事業

板橋区は、(公財)板橋区文化・国際交流財団と連携・協力して、海外との交流・協力事業や多文化共生に対応した外国人住民との交流・支援事業に取り組んでいる。区は主に海外との友好交流関係の締結や行政間の交流事業、行政施策に関連する国際化、多文化共生施策などを行う一方、(公財)板橋区文化・国際交流財団では、区が築いた友好交流関係に基づき、区民参加による姉妹・友好都市等との交流事業や、地域の外国人住民との交流事業を推進している。

#### 3-1 板橋区の国際交流事業

##### 〔1〕海外との交流

###### ☆カナダ・バーリントン市

市(区)民が互いに理解し合い、友情を深めることが世界平和の礎になるとの理念のもと、板橋区は1989年、カナダのオンタリオ州バーリントン市と姉妹都市提携を締結した。以来、板橋区とバーリントン市とは、青少年訪問団や区民ツアーの訪問、文化団体による文化交流など、市(区)民レベルでの様々な交流が続いている。2014年は提携25周年にあたり、公式訪問団が相互に両市(区)を行き来し、記念植樹式や、市(区)民を主体とした各種記念行事・交流事業が行われた。2019年は提携30周年にあたり、公式相互訪問を行い、また、市(区)民ツアーが相互にホームステイ・ホームビジットを行った。バーリントン市に開園した「板橋ガーデン」のオープニングセレモニーに区長が出席した。

###### ☆モンゴル国文化省・教育科学省

1992年、モンゴル国で紙不足が深刻であるという新聞報道をうけ、区内印刷工場の余紙で作った再生ノートや鉛筆などを贈ったことで始まったモンゴル国との交流は、その後文化交流、人的交流へと発展し、1996年10月、モンゴル国文部省(現文化省・教育科学省)と板橋区は「文化・教育交流協定」を締結した。翌年から2012年まで、財団法人板橋区国際交流協会(後の(財)板橋区文化・国際交流財団、現在の(公財)板橋区文化・国際交流財団)は、モンゴル国人文大学で日本語を学ぶ学生に年間授業料相当分の奨学金支援を行った。また、1999年から2008年まで、放置自転車を区内中学生ボランティアが再生し、ウランバートル市等へ毎年寄贈する事業を行った。2011年の協定締結15周年では、モンゴルフェアの実施や区民ツアーの派遣などにより、人的・文化的な交流を進めた。2016年の20周年には、受入が年をまたぐ形となったが公式相互訪問を行い、区内学生を派遣する区民ツアーも行った。2021年は25周年を記念した文化紹介イベントを区役所で行った。

#### ☆北京市石景山区

1992年から始まった北京市石景山区との交流は、日中国交正常化25周年にあたる1997年、北京市と姉妹都市である東京都の先導のもと、東京都内の区と北京市内の区が友好協定を結ぶことになった。石景山区は板橋区と10月に、墨田区と12月に友好交流協定を締結した。以来、石景山区訪問区民ツアーや両区区民による書道・絵画・写真展の開催など、区民レベルでの交流が行われている。提携5周年となる2002年には、板橋区代表団と文化団体が石景山区を訪問し記念行事を行った。2003年度に始まった学校間交流や、2007年の提携10周年記念の区民ツアー派遣など、両区間の文化交流が進んでいる。また2007年度は年間を通して開催した「中国理解講座①～⑥」の他、10周年を祝い石景山区代表団が板橋区を訪問し、記念行事を行った。20周年の2017年には、公式訪問団による相互訪問、区役所1階での周年記念イベント、卓球交歓大会への中学生派遣、書道作品交換等を行った。2022年は公式訪問団の受入は中止となったものの、オンラインで周年を祝った。

#### ☆マレーシア・ペナン州立ペナン植物園

板橋区とペナン州は、1994年9月に、板橋区立熱帯環境植物館とペナン植物園との間の「友好提携に関する共同声明」に調印、以来植物の交換事業などを行っている。2004年には交流10周年を記念した交流事業として、板橋区の訪問団がペナン州を訪問した。2008年にはペナン植物園内「日本庭園」竣工を記念し、公式訪問団と、第1回目となる区民ツアーがペナン植物園を訪問した。交流20周年にあたる2014年は、板橋区公式訪問団がペナン植物園を訪問し、周年記念行事に参加した。2017年には、区内中学生23名をマレーシアへ派遣し、異文化交流やホームステイ、ペナン植物園訪問などを実施した。

#### ☆イタリア・ボローニャ市

1981年板橋区立美術館において「第1回ボローニャ国際絵本原画展」を開催して以来、板橋区とボローニャ市は、両都市の代表者が相互に訪問し、また、ボローニャ見本市協会からの児童図書寄贈を受けて「ボローニャブックフェア in いたばし」を開催するなど、交流が続いている。2004年9月には同市から寄贈された約2万冊の絵本を収蔵する「いたばしボローニャ子ども絵本館」が開館した。2005年7月に友好都市提携を締結し、2007年には第1回区民ツアーを派遣し、両市(区)民間交流のきっかけとなった。友好都市交流協定締結5周年の2010年には、イタリア・ボローニャフェアを実施するとともに、区民ツアーがボローニャ市を訪問し交流を深めた。10周年の2015年には、相互訪問を実施したほか、ボローニャ市訪問に合わせて、区民向けイベント“Ciao, Bologna!”を開催した。2017年、中央図書館改築に伴い設置するボローニャギャラリーのデザインをボローニャ大学において募集するコンテストを実施し、2021年3月中央図書館のリニューアルオープンとともにボローニャ絵本館内にポルティコを模したデザインのボローニャギャラリーが誕生した。2020年は協定締結15周年を記念し、本庁舎1階での展示イベント「ボローニャ、アモーレ！」を開催した。

## 〔 2 〕 国際関連施策

板橋区では、各部署において様々な国際関連施策を行っている。2022年度（令和4年度）の国際関連施策の実績は表5のとおりである。（公財）板橋区文化・国際交流財団の事業は、P. 14～P. 21に掲載している。

表5： 2022年度（令和4年度）の板橋区国際関連施策一覧（組織別）

<b>政策経営部</b>	
広聴広報課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆区ホームページ自動翻訳サービス（108言語）</li> <li>◆「広報いたばし」の多言語対応アプリ配信（10言語：日・英・中（簡体・繁体）・韓・タイ・ポルトガル・スペイン・インドネシア・ベトナム）</li> </ul>
<b>総務部</b>	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金 外国人学校に通う児童・生徒の保護者に対して授業料を補助（180名）</li> </ul>
契約管財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本庁舎 庁舎案内業務（16言語） 本庁舎案内カウンターにてタブレット画面对話型多言語通訳システムを配備</li> </ul>
納税課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民税（普通徴収分）における督促状同封文の英語併記</li> <li>◆外国語版封筒・案内文の作成（英・中・韓）</li> </ul>
男女社会参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ダイバーシティフェア 異文化理解に関する展示パネルの展示</li> <li>◆職員向け情報誌「D&amp;I 通信」 「外国人のための日本語教室」についての記事を掲載</li> <li>◆いたばし good balance 会社賞 審査項目の一つに「ワーク・ライフ・バランス及びダイバーシティ&amp;インクルージョンに関する取組」があり、例えば、外国人労働者のための職場環境改善の取組等を行う企業があれば、高く評価する仕組みになっている。</li> </ul>
<b>区民文化部</b>	
戸籍住民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆街区表示板等のローマ字・外国語併記（英・中・韓） 街区表示板・街区案内板のローマ字・外国語併記の付定及び補完</li> <li>◆窓口配布案内の外国語版作成（英・中・韓） 「印鑑登録された方へ」「お名前に変更があった方へ」「個人番号カード利用によるコンビニエンスストアにおける証明書交付サービスのご案内」について外国語版を作成し、必要に応じて配付</li> <li>◆総合窓口共通指さし会話シート（英・中・韓・タガログ・ベトナム・フランス・スペイン・ポルトガル）</li> </ul>

表5： 2022年度（令和4年度）の板橋区国際関連施策一覧（組織別） 続き

区民文化部	
文化・国際交流課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通訳・翻訳委託（英・中 その他の言語は可能な限り対応）</li> <li>◆外国籍住民向け情報発信・Welcome to いたばし配付（日・英・中・韓） 外国籍住民のための生活情報をデータで作成。そのデータや日本語教室の情報をQRコードからみることのできるチラシ「Welcome to いたばし」を作成。防災や観光など各種資料を言語別に袋にまとめた「Welcome パック」を作成。</li> <li>◆2022 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 イタリア・ボローニャ市で毎年開催される世界的な絵本コンクールの入選作品を板橋区立美術館で展示（38日間実施、観覧者数：6,576人）</li> <li>◆北京市石景山区関連事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>①オンライン交流事業（「友好交流・協力関係に関する合意書」調印25周年記念事業） 石景山区公式訪問団による板橋区への訪問が中止となったことに伴い、オンラインで周年記念事業を行った。 内容：区長挨拶、駐中華人民共和国大使館公使挨拶、記念品紹介、企業交流、大学生交流等</li> <li>②動画交流（「友好交流・協力関係に関する合意書」調印25周年記念事業）</li> <li>③板橋区産業見本市オンライン版への出展 友好都市の企業として石景山区内企業を掲載し、見本市会場には企業のパンフレットを配架</li> </ul> </li> <li>◆モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサートの開催 区制施行90周年、日モ国交樹立50周年、また令和3年の板橋区とモンゴル国「文化・教育交流協定」締結25周年を記念し文化会館大ホールにて開催（参加者数：769名）</li> <li>◆国際交流連絡会</li> <li>◆外国人賓客の受け入れ</li> <li>◆留学生を対象とした防災訓練 板橋区総合防災訓練に区内日本学校の留学生5名参加</li> </ul>
産業経済部	
くらしと観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光いたばしガイドマップの作成 英・中各3,000部</li> </ul>
健康生きがい部	
国保年金課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国民健康保険のパンフレット作成（英・中・韓・ベトナム・タガログ・ネパール） 英・中・韓：1,500部 ベトナム・タガログ・ネパール：1,000部</li> <li>◆被保険者向け案内文作成（英・中・ネパール） 「健康保険に加入される方へ」等7種類のチラシ等作成</li> <li>◆国保特定健康診査・後期高齢者医療健康診査受診時の外国語版問診票の提供（英・中）</li> <li>◆アイシェフ・ボードへの情報掲載 国民健康保険加入・保険料の納付案内、健康診査、国民年金の加入案内</li> <li>◆年金についての情報提供 年金の届出控えを多言語で作成（英・中・韓） 日本年金機構作成のリーフレット配付（英・中・韓・ベトナム・タガログ・ロシア・ポルトガル・スペイン・インドネシア・タイ・ミャンマー・カンボジア・ネパール・モンゴル）</li> </ul>

表5： 2022年度（令和4年度）の板橋区国際関連施策一覧（組織別） 続き

健康生きがい部	
健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆乳幼児健康診査の質問票の配備（英・中・韓・タガログ）（4・5歳は英・中のみ）</li> <li>◆外国語版母子健康手帳の交付（英・中・韓・タガログ・スペイン・タイ・ポルトガル・インドネシア・ネパール・ベトナム） 計92名に配布</li> <li>◆区民一般健康診査における問診票提供（英・中）</li> <li>◆乳がん検診質問票の提供（英・中・韓）</li> </ul>
感染症対策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本語学校における結核健診 区内日本語学校に対し、結核健診（問診・胸部レントゲン検査）を無料で実施（551名）</li> </ul>
福祉部	
障がい政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ユニバーサルデザイン推進協議会 ユニバーサルデザインを総合的に推進するために設置している協議会の委員のうち、1名は外国人としている。</li> </ul>
福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国帰国者相談（中） 中国語対応の相談員が生活相談に応じる（477名） 板橋福祉事務所 予約制（事前に電話で予約） 赤塚福祉事務所 火曜日 9時から17時まで 志村福祉事務所 水曜日 9時から17時まで</li> </ul>
子ども家庭部	
子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の手当等のリーフレット作成（英・中）</li> </ul>
子ども家庭総合支援センター 支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談業務や子育て支援サービスについてのチラシ作成（英・中）</li> </ul>
資源環境部	
環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆熱帯環境植物館 マレーシアデー パネル展示 マレーシア連邦結成記念日を祝い、マレーシアの文化についての紹介パネルの展示 （2日間実施、来場者数：1,200人）</li> <li>◆熱帯環境植物館 英語・中国語パンフレットの配布（英・中）</li> </ul>
資源循環推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資源とごみの分け方・出し方リーフレットの作成・配付（英・中・韓）</li> <li>◆不法投棄防止用看板を作成・配付（英・中）</li> <li>◆板橋区統合アプリケーション「IT A-Port」にごみに関する機能を掲載（英・中・韓）</li> <li>◆粗大ごみ受付業務の多言語対応</li> </ul>
都市整備部	
住宅政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「公的住宅のご案内」のホームページ掲載・紙での配付（英・中・韓）</li> <li>◆都営住宅、区営住宅等入居者募集情報のアイシェフ・ボード掲載</li> </ul>

表5： 2022年度（令和4年度）の板橋区国際関連施策一覧（組織別） 続き

土木部	
みどりと公園課	◆赤塚植物園パンフレットの配付、ホームページでの公開（英）
教育委員会	
学務課	<p>◆日本語学級のお知らせの配付（英・中・韓・タガログ） 日本語学級設置校：新河岸小学校、板橋第六小学校、板橋第八小学校 板橋第二中学校、志村第二中学校</p> <p>◆板橋区小・中学校就学手続きについてのご案内（英・中・韓） 小・中学校に入学予定対象年の外国籍児童に対し、案内チラシ郵送。今年度より年明けにも、まだ就学手続きしていない方あてに入学先調査票を加え再度送付。（夏204名、冬53名）</p> <p>◆日本語初期学習講座 入国して間もないなどの理由により、日本語での意思疎通が困難な子供が区立の学校に就学するにあたり、学校生活に必要な最低限の日本語の基礎を習得し、学校生活に早期に適應できるよう、日本語を夏期・春期各9日間で集中的に学ぶ講座を実施する。1名27時間。 （対応可の言語：アラビア語、英語、韓国語、スペイン語、タイ語、タガログ語、中国語、ドイツ語、ネパール語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語、ミャンマー語、モンゴル語、ロシア語。実績：外国人39人、日本人2人）</p> <p>◆就学援助制度のお知らせの作成・各学校配付</p> <p>◆健康診断調査票等の作成・各学校配布（英・中・タガログ・ネパール）</p> <p>◆就学時健康診断のお知らせ（英・中・タガログ） 新入学予定者に送付している就学時健康診断のお知らせに同封（対象者：約4,100人）</p>
指導室	<p>◆ことば支援員（英・中・タガログ・ベトナム・ネパール） 海外からの転入生に対する授業中の通訳ボランティアの派遣（延べ724回）</p> <p>◆日本語適応指導員派遣事業（中） 区立小中学校の中国籍児童・生徒対象に指導員を派遣し、日本語指導、学習の援助を実施（16名、延べ147回）</p> <p>◆外国人指導員による英会話授業（ALT） ネイティブスピーカーによる授業を実施（小学校2,877日、中学校1,538日）</p> <p>【新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった事業】</p> <p>◆板橋区中学生海外派遣事業</p>
中央図書館	<p>◆ボローニャギャラリーデザインコンテスト最優秀賞受賞者の歓迎セレモニー ボローニャギャラリーデザインコンテスト最優秀賞受賞者2名に対して、イタリアと日本の往復航空券を贈呈</p> <p>◆利用者図書館資料検索予約端末機の設置（英・中・韓）</p> <p>◆利用者予約照会端末機の設置（英・中・韓）</p> <p>◆利用者自動貸出端末機の設置（英）</p> <p>◆外国語図書・雑誌・新聞の提供</p> <p>◆図書館利用パンフレットの配布（英・中・韓） 中央図書館には英語版中央図書館利用パンフレットを設置</p> <p>◆第30回ボローニャ・ブックフェア in いたばし イタリアのボローニャ児童図書展事務局からの世界各国の新作寄贈絵本を中心に展示（17日間展示、来場者数：計4,022人）</p>

表5： 2022年度（令和4年度）の板橋区国際関連施策一覧（組織別） 続き

教育委員会	
	<p>中央図書館 続き</p> <p>◆第29回いたばし国際絵本翻訳大賞 英語とイタリア語の課題絵本を選定し、翻訳作品を募集、表彰 (応募者数：英語 776 件、イタリア語 266 件、中学生英語部門 333 件)</p> <p>◆ミニ・ポローニャ・ブックフェア 前年のポローニャ児童図書展事務局から寄贈された世界各国の絵本等を区立図書館にて巡回展示 (延べ104 日間実施、来場者数：3,365 人)</p> <p>◆「板橋区コーナー（友好交流都市）」 バーリントン市立図書館から送られた本や海外交流都市に関連する資料を中央図書館3階にコーナーを設けて展示した</p> <p>◆ポローニャギャラリーの展示 ポローニャ市との友好のシンボルとなるポローニャギャラリーにポローニャに関連する資料を展示 (通年)</p> <p>◆ポローニャ市立サラボルサ児童図書館との姉妹図書館提携事業 ①姉妹図書館提携締結記念展示 (令和4年3月21日～4月16日) ②オンラインミーティング (新刊紹介等の情報交換) 実施回数：4回 ③ぬいぐるみとおとまり会 (令和4年10月30日～11月1日実施 参加者7組) ④わらべ歌収集ワークショップ (令和5年2月12日実施 参加者11名) ⑤姉妹図書館提携締結1周年記念展示 (令和5年3月21日～4月21日)</p> <p>◆「絵本のまち板橋」新規推進事業 ①「世界の書棚から」講演会 (毎月1回実施 参加者延べ306名) ②「世界の書棚から」関連イベント (毎月中旬1回実施 参加者延べ123名) ③「英語絵本活用イベント (令和4年6月5日、12月4日 参加者延べ43名)</p> <p>◆外国語絵本の閲覧 ポローニャ・ブックフェア事務局からの寄贈及び絵本館で購入している外国語絵本を閲覧に供する。(約100か国) 同じ内容の外国語版と日本語版の絵本 (セット絵本) についても閲覧に供している。</p> <p>◆外国語おはなし会 外国語の絵本や外国の昔話などの読み聞かせ等を実施(41回)</p> <p>◆外国語絵本の団体貸出</p>

## 【ウクライナ関係支援】

令和4年度は、ロシア連邦によるウクライナ侵略を受けて、区は(公財)板橋区文化・国際交流財団と連携し、ウクライナ避難民への支援を行った。

- ・ウクライナ避難民支援におけるワンストップ窓口を文化・国際交流課に開設(令和4年4月26日)
- ・区窓口における通訳・翻訳体制整備(ウクライナ語・ロシア語拡充)
- ・ウクライナ語等での情報発信、手紙の送付
- ・音声通訳機の購入(避難民に貸与したほか対応が必要な窓口に配備)
- ・一時金の支給 25世帯34人 420万円  
避難民1人15万円(世帯の人数がふえるごとに5万円の追加)の支給
- ・家具家電支援 21件 775,120円(鍋、網戸、ドライヤー等)
- ・やさしい日本語ハンドブックの作成 発行部数1,000部(区民事務所、小学校等に配付)
- ・クラウドファンディングの実施

実施期間: 令和4年5月18日~11月30日(197日間)

寄付件数: 81件

寄付金額: 4,507,572円

- ・区立体育施設の個人利用(トレーニングルーム、プール)及び団体利用(庭球場)の施設使用料全額免除 72回
- ・財団日本語教室の受入 4名(受講料とテキスト代無償)
- ・日本語初期学習支援の受入 小学6年生1名
- ・日本語学級への通級を支援 小学6年生1名、5年生1名
- ・外部協力団体・個人における支援とのつなぎ
  - ①区内日本語学校入学(協力: アンランゲージスクール成増校) 1名
  - ②携帯電話貸与支援(協力: ソフトバンク株式会社) 貸与件数18台
  - ③子どもへの絵本プレゼント(協力: 日本国際児童図書評議会) 3名
  - ④校帽、防災頭巾、防災頭巾カバー寄付(協力: タバタスポーツひのきや) 1名
  - ⑤ランドセル、ぬいぐるみなどの寄付(協力: 個人) 2名
  - ⑥アロマオイルの提供(協力: 心のケアまごころ) 1名2つ
  - ⑦中学校制服、自転車等の提供(協力: 東京板橋セントラルロータリクラブ) 3世帯
- ・住宅の支援
  - ①区営住宅 1世帯4名
  - ②都営住宅 13世帯13名(19戸用意)
  - ③民間所有物件 1世帯2名
  - ④民間不動産会社への入居支援 2世帯2名
- ・手続き案内、同行支援  
児童手当申請や就学援助申請等区窓口への同行のほか、銀行口座作成、学校からの連絡等外部機関との間に入り手続き等がスムーズに行えるよう支援した。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種券交付支援 4名
- ・ロシア語及びウクライナ語の語学ボランティアの募集  
登録者数 ロシア語…28名 ウクライナ語…6名(5名ロシア語対応可)
- ・ウクライナおもてなし講座  
ウクライナのあいさつや文化・習慣などを学べる講座を実施 参加者34名
- ・就労及びボランティアに関する支援
  - ①いたばし生活仕事サポートセンター案内 1名
  - ②区内企業が実施するウクライナ料理教室案内 参加者1名 2回
  - ③国際理解教育の講師をウクライナ避難民に依頼 1件
  - ④はたらくための日本語配付 6名
  - ⑤東京外国人雇用サービスセンター案内 1名

### 〔3〕海外からの来訪者の受入

板橋区では、交流や行政視察など目的とした海外からの来訪者の受入を行っている。2022年度（令和4年度）の受入実績は表6のとおりである。

表6：2022年度（令和4年度）海外からの来訪者受入実績

No.	来訪者・団体名等	国名	受入内容	月日	人数
1	マレーシア首相及び閣僚	マレーシア	成増里神楽披露 SDGsポスターへの署名 中学生による歓迎スピーチ 経済交流会 等	5月24日	37
2	マレーシアオリンピック委員会 会長兼バドミントン協会会長	マレーシア	表敬訪問	8月26日	5
3	イタリア商工会議所	イタリア	表敬訪問	11月1日	2
4	マレーシア・サラワク州・ミリ市 訪問団	マレーシア	表敬訪問 庁舎視察 中央図書館視察	2月17日	24
合 計					68



マレーシア首相及び閣僚の受入



イタリア商工会議所



マレーシア・サラワク州・ミリ市訪問団

### 3-2 (公財)板橋区文化・国際交流財団の国際交流事業

板橋区は、1989年12月に(財)板橋区国際交流協会を設立し、区民レベルでの国際交流を推進してきたが、同協会は2001年3月31日に解散し、その使命を(財)板橋区文化・国際交流財団へと継承した。(財)板橋区文化・国際交流財団は、2001年4月1日に設立され、以来、板橋区と連携して、姉妹・友好都市、外国諸都市との交流事業や、地域の外国人住民との交流事業を推進してきた。2012年4月1日に「公益認定」を取得し、「公益財団法人板橋区文化・国際交流財団」として、引き続き、ことばや文化・習慣の違いを超えて、すべての人が安心して暮らせるまちづくり「多文化共生まちづくり」や区民レベルの国際交流を推進している。

なお、財団では、語学ボランティアや国際理解教育ボランティア等の各種登録制度を設け、区民と協働し、事業運営を進めている。

同財団の2022年度(令和4年度)の国際交流事業実績及び2023年度(令和5年度)の事業予定は次のとおりである。

#### [1] 2022年度(令和4年度)事業実績

##### 2022年度(令和4年度)事業一覧

###### 国際交流事業

- 日本語教室
- 日本語ボランティア養成講座
- 日本語スピーチ大会
- 外国人相談会
- ボランティア協働事業
- 国際理解教育
- 多文化紹介シリーズ
- 語学ボランティア
- 防災語学ボランティア養成講座
- ホームステイ・ホームビジット

###### 姉妹・友好都市提携に基づく事業

- バーリントン市交流事業
- 石景山区交流事業
- 友好・姉妹都市交流事業

###### 育成、援助及び顕彰

- 民間国際交流事業助成

###### 広報

- 情報紙「アイシェフ・ボード」の作成
- やさしい日本語

###### 板橋区からの受託事業

- 通訳・翻訳事業

## (1) 国際交流事業

### ① 日本語教室

日本語を話せない区内在住外国人を対象に、日常生活の利便を図り住みよいまちづくりを推進するため、日本語ボランティアによる初級日本語教室を運営した。また、会話力の向上を目的とした「水曜会話サロン」を令和2年度から実施している。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため前期の一部をオンラインで実施した。

コース	回数	受講者数
月・木コース（午前）	週2回（前期・後期2期制、前期35回・後期38回）	前期33名 後期33名
火・金コース（夜間）	週2回（前期・後期2期制、前期39回・後期40回）	前期26名 後期34名
水曜会話サロン(午前)	週1回（前期・後期2期制、前期20回・後期20回）	前期21名 後期21名
水曜会話サロン(午後)	週1回（前期・後期2期制、前期20回・後期20回）	前期35名 後期24名

### ② 日本語ボランティア養成講座

ICIEF（財団）日本語教室やボランティア日本語教室で活動する日本語教育ボランティアの養成講座を実施した。

#### (a) 日本語ボランティア養成講座(隔年実施)

月日	会場	受講者数
令和5年 1月21日（土）、1月26日（木）、 1月29日（日）、2月1日（水）、 2月5日（日）、2月9日（木）、 2月11日（祝）、2月16日（木）、 2月18日（土）、2月26日（日）、 3月2日（木）、3月4日（土）、 3月9日（木）、3月11日（土）、 3月16日（木）、3月18日（土） (16日間)	区役所、グリーンホール	28名 (16日間合計)

#### (b) ブラッシュアップ講座

隔年実施のため、令和4年度は行わず令和5年度に実施予定。

### ③ 日本語スピーチ大会

日本語を学ぶ外国人に学習成果発表の機会を提供し、区民の異文化理解を図るため、スピーチ大会を実施した。

月 日	参加人数
令和5年2月25日(土)	出場者24名(10ヶ国・地域)、来場者211名

### ④ 外国人相談会

外国との制度や文化の違いから生じる問題に対応するため、外国人を対象に母語で専門家に相談できる機会を提供した。

#### (a) 無料専門家相談会(都内リレー相談会)

東京外国人支援ネットワーク運営会議に参加し、弁護士や行政書士等の専門家による相談会を開催した。※予約制、電話相談

月 日	相談者数	相談件数	専門家
令和4年6月26日(日)	7名(4ヶ国・地域)	7件	4分野8人*

#### (b) 無料法律相談

※予約制、電話・オンライン相談

月 日	相談者数	相談件数	専門家
毎月第3木曜(6月を除く・予約がない場合は未開催)、令和4年4月21日・5月19日・7月21日・8月18日・9月15日・10月20日・11月17日・12月15日・5年1月19日・2月16日・3月16日	11名 (5ヶ国)	11件	弁護士

### ⑤ ボランティア協働事業

区民の自主的なボランティア活動を支援し、地域社会の国際交流を促進することを目的に、ボランティア団体と協働事業を実施した。

団体名	内 容	月 日	参加人数
仲 間 (共催事業)	国際交流サロン～仲間～	令和4年4月16日(土)・5月14日(土)・6月11日(土)・7月9日(土)・10月8日(土)・11月19日(土)・12月17日(土)・令和5年1月14日(土)・3月11日(土) ※8月及び9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	延135名
	ニューイヤーサロン	令和5年2月11日(土)	40名

団体名	内 容	月 日	参加人数
スマイルサークル	中国の山水画を描こう！	令和4年10月18日（火）	23名
	韓国料理教室	令和5年3月11日（土）	23名

## ⑥ 国際理解教育

区内小・中学生の国際理解教育を進めるため、学校等の依頼を受け、外国文化を伝える外国人ボランティアや海外在住経験のある日本人などを講師として派遣した。

### 【あいキッズ】

派遣日	実施校（あいキッズ）	講師の出身国・滞在国・地域	参加人数
令和4年6月22日（水）	志村第三小学校	韓国	25名
令和4年7月25日（月）	板橋第十小学校	インド	30名
令和4年7月27日（水）	志村第二小学校	ミャンマー	30名
令和4年8月1日（月）	成増ヶ丘小学校	アメリカ	110名
令和4年8月4日（木）	中台小学校	エジプト	41名
令和4年11月2日（水）	板橋第一小学校	台湾	30名
令和4年11月30日（水）	北前野小学校	ウクライナ	18名
令和4年12月22日（木）	向原小学校	中国	25名

### 【小学校】

派遣日	実施校・学年	講師の出身国・滞在国	参加人数
令和4年6月1日（水）	志村第一小学校	モロッコ	128名
令和4年6月3日（金）	上板橋第二小学校	タイ	61名
令和4年9月15日（木）	蓮根小学校	エジプト	90名
令和4年10月27日（木）	志村第二小学校	パナマ	99名
令和4年12月20日（火）	前野小学校	トンガ	86名
令和5年3月20日（月）	新河岸小学校	ケニア	36名

### 【中学校】

派遣日	実施校・学年	講師の出身国・滞在国	参加人数
令和4年9月26日（月）	板橋第五中学校	ケニア	150名
令和4年11月25日（金）	志村第二中学校	ガーナ	109名
令和4年12月13日（火）	中台中学校	エジプト	180名
令和5年3月7日（火）	板橋第三中学校	エジプト	100名

## ⑦ 多文化紹介シリーズ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止。

### (a) 外国人のための日本伝統芸能鑑賞会

区民文化祭「日本趣味のつどい」で英語・中国語・韓国語版のプログラムを配布し、日本の伝統芸能を楽しめる機会を提供するとともに、過去に「外国人のための日本舞踊講座」を受講した外国人2名が日本舞踊の発表を行った。

(b) 外国人のための初めての日本舞踊講座

外国人を対象に日本舞踊の講座を実施した。また、「日本語スピーチ大会」のハーフタイムショーに出演し、練習の成果を披露した。

	月 日	会場	参加人数
練習	令和5年2月13日(月)・2月17日(金)・2月24日(金)、3日間	文化会館 グリーンホール	8名
本番	令和5年2月25日(土)	グリーンホール	



多文化紹介シリーズ 外国人のための初めての日本舞踊講座  
(日本語スピーチ大会での発表)

⑧ 語学ボランティア

非常勤職員や財団登録の語学ボランティアに協力を依頼し、財団事業に必要な通訳・翻訳を行った。

(a) 通訳ボランティア

件 数	11件
使用言語	英語・中国語
ボランティア登録者数	413名

(b) 翻訳ボランティア

件 数	28件
使用言語	英語・中国語・韓国語・ウクライナ語
ボランティア登録者数	355名

⑨ 防災語学ボランティア養成講座

災害時に日本語の話せない外国人を支援するための語学ボランティアを養成するための講座を開催した。また、語学ボランティア登録者を板橋区総合防災訓練に派遣し、防災に関する基礎知識、避難所での通訳・翻訳活動等を学ぶ機会を提供した。

(a) 防災語学ボランティア養成講座

月 日	会場	参加人数
4年12月22日(木)	教育支援センター研修室A	16名

(b) 板橋区総合防災訓練

区共催事業。防災語学ボランティアを防災訓練に派遣（中国語2名）

⑩ ホームステイ・ホームビジット

団体（学校・企業）からのホームステイ・ホームビジット申込み及び日本人家族に宿泊または訪問を希望する外国人を受け入れるためのホストファミリーの募集を行った。

※ホームステイ・ホームビジットは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) 姉妹・友好都市提携に基づく事業

① バーリントン市交流事業

(a) 小学校作品交流

富士見台小学校とバーリントン市公立学校 Frontenac Public School 及び Trinity Christian School の間で作品を交換し、展示した。(5～11月)

(b) 高校生文通交流

東京家政大学付属女子高等学校とバーリントン市 M.M Robinson high school の間で文通を行った。(10月～3月、計87名参加)

② 石景山区交流事業

石景山区民が撮影した最近の街並みや風景等の写真を展示する「石景山区写真展」を開催した。

月 日	会 場
令和5年2月6日(月)～17日(金)	区役所1階プロモーションコーナー

③ 友好・姉妹都市交流事業

(a) いたばし花火大会への招待<区共催>

いたばし花火大会中止のため実績なし。

(b) グリーティングカード

交流都市等の関係者へ年末年始のグリーティングカードを送付した。

(3) 育成、援助及び顕彰

民間国際交流事業助成

区民の国際交流活動を推進するため、区内ボランティア団体やNPO等の国際交流活動に対し助成を行った。(日本語教室5件、国際交流事業3件)

(4) 広報

① 情報紙「アイシェフ・ボード」の作成

外国人に開かれた住みよいまちにするため、区政や生活情報、国際交流事業に関する情報を掲載した情報紙「アイシェフ・ボード」を4言語併記で毎月発行し、区民に広く周知した。

作成部数：毎月 1,800 部（ルビ付き日本語・英語・中国語・韓国語）

(a) 「ダイバーシティフェア」の参加<区共催>

男女社会参画課主催イベントに参加し、外国人の人権や多文化共生まちづくりについて区民に周知するパネル展示を行った。

月 日	会 場
令和 5 年 2 月 16 日(水)～22 日(水)	区役所 1 階イベントスクエア

(b) 町会掲示板のポスター掲示

日本語スピーチ大会を広く周知するため、町会掲示板にポスターを掲示した。（掲示期間：令和 5 年 2 月 1 日～15 日）

② やさしい日本語ハンドブックの作成

簡単に伝わりやすい日本語の話すポイントをまとめた「やさしい日本語ハンドブック」を作成した。

作成部数：1,000 部

(5) 板橋区からの受託事業

通訳・翻訳事業

区内在住外国人が区役所窓口等で円滑に手続きを進められるよう、電話通訳及び非常勤職員や財団登録の語学ボランティアによる通訳、区発行文書等の翻訳を行い、日本語ができない方の利便を図る。

(a) 電話通訳

件 数	英語 319 件、中国語 434 件、韓国語 2 件、ベトナム語 42 件、ロシア語 3 件、その他 9 件 (計 7,916 分)
通訳内容	区役所窓口での手続き等

(b) 通訳者派遣

件 数	英語 19 件、中国語 31 件、その他 8 件
通訳内容	区役所窓口での手続き、区立小中学校での面談 等

(c) 翻訳

件 数	英語 40 件、中国語 36 件、その他 25 件
翻訳内容	区政情報、施設・事業案内資料、区長宛て親書等の翻訳

## 〔2〕2023年度（令和5年度）事業予定

### 2023年度（令和5年度）事業予定一覧

#### 国際交流事業

- 日本語教室
- 日本語ボランティア養成講座
- 日本語スピーチ大会
- 外国人相談会
- やさしい日本語
- ボランティア協働事業
- 国際理解教育
- 多文化紹介事業
- 語学ボランティア
- 防災語学ボランティア
- 多文化共生推進いたばし大使
- ホームステイ・ホームビジット

#### 姉妹・友好都市提携に基づく事業

- バーリントン市交流事業
- 石景山区交流事業
- 友好・姉妹都市交流事業

#### 民間団体が行う文化国際交流活動の育成、援助

- 民間国際交流事業助成

#### 国際交流に関する広報

- 情報紙「アイシェフ・ボード」の作成

#### 板橋区からの受託事業

- 通訳・翻訳事業

## 4. 各国・都市との交流の経緯

(※ 文中の肩書はいずれも当時のもの)

### 4-1 バーリントン市との交流の経緯

市（区）民が互いに理解し合い、友情を深めることが世界平和の礎になるとの理念のもと、板橋区は1989年、カナダのオンタリオ州バーリントン市と姉妹都市提携を締結した。

以来、板橋区とバーリントン市とは、青少年訪問団や区民ツアーの訪問、文化団体による文化交流など、市（区）民レベルでの様々な交流が続いている。



#### ○バーリントン市の概要



人 口	190,214人 (2018年統計)
位 置	北緯43度 (札幌と同じ) トロント市から55km ナイアガラの滝から72km オンタリオ湖の北岸
面 積	187km <sup>2</sup>
気 候	7月の平均気温: 22℃ 1月の平均気温: -5℃
ことば	主に英語
時 差	-14時間 (夏は-13時間)
バーリントン市HP	<a href="https://www.burlington.ca/">https://www.burlington.ca/</a>

#### ○交流の経緯

<u>1985年</u>	<u>(昭和60年)</u>		・区民まつりでのカナダフェアをきっかけにカナダ大使館と交流、意見交換を行ない、トロント市について検討
<u>1986年</u>	<u>(S61年)</u>		・栗原区長がトロント市を訪問
<u>1987年</u>	<u>(S62年)</u>		・トロント市と情報交換をしていたところ、バーリントン市の情報が入り、同市について調査開始
<u>1988年</u>	<u>(S63年)</u>	<u>4月</u>	・栗原区長がバーリントン市を訪問
		<u>7月</u>	・区議会代表による姉妹都市提携事前調査団がバーリントン市を訪問
		<u>10月</u>	・ローリー・バード市長を含む調査団が板橋区を訪問
<u>1989年</u>	<u>(平成元年)</u>	<u>5月12日</u>	・ <b>バーリントン市と姉妹都市提携</b> (バーリントン市にて) 【調印団: 区長、区議会議長ほか】
		<u>9月</u>	・区民訪問団がバーリントン市を訪問し、市民と交流
<u>1990年</u>	<u>(H2年)</u>	<u>1月</u>	・バード市長とバーリントン・ティーン・ツアー・バンドが板橋区を訪問 (総勢 257名)
		<u>3月</u>	・バーリントン・エアーカデッツ (ボーイスカウトと同種の団体) が板橋区を訪問し、区内ボーイスカウトと交流
		<u>6月</u>	・姉妹都市提携1周年を記念して、オンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を実施 ・区民訪問団 (80名) がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加

<u>1991年</u>	<u>(H3年)</u>	<u>10月</u>	・バード市長、世界化委員会委員長及びミス・ティーン・バーリントンが板橋区を訪問
		<u>3月</u>	・青少年派遣団が、バーリントン市を訪問（20名：引率5名）
		<u>6月</u>	・区立図書館とバーリントン市図書館との間で「姉妹図書館宣言」 ・区民訪問団一行二団体（板橋郵便局及び板橋青色申告会主催ツアー）がバーリントン市を訪問
		<u>7月</u>	・シェリダンカレッジ夏期英語セミナーで区民がバーリントン市を訪問（20名）
<u>1992年</u>	<u>(H4年)</u>	<u>10月</u>	・バード市長、世界化委員会委員長及び高校生（4名）が板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・和太鼓のグループがバーリントン市を訪問しサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加
		<u>7月</u>	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問（28名） ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー（20名）
		<u>10月</u>	・ウォルター・マルケヴィッチ市長、経済交流団及び高校生が板橋区を訪問（計13名）
<u>1993年</u>	<u>(H5年)</u>	<u>3月</u>	・バーリントン・エアー・カデッツが板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・茶華道連盟がバーリントン・マルチ・カルチャー・フェアに参加
		<u>7月</u>	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問（30名：引率7名） ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー（15名）
		<u>11月</u>	・バード前市長一行（6名）が板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・姉妹都市提携5周年を記念して、オンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を実施 ・区代表団、区民訪問団がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加（約80名）
<u>1994年</u>	<u>(H6年)</u>	<u>7月</u>	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問（20名） ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー（14名）
		<u>3月</u>	・板橋駅前公園内バーリントン広場が完成 （姉妹都市提携5周年を記念し、前年11月より着工。バーリントン市から寄贈された照明灯、カナダ大使館から寄贈されたサトウカエデ、バーリントン市の住宅をイメージしたトイレ、両区市のマークを入れた防護柵、北米をイメージした植栽などが整備された）
		<u>6月</u>	・区民ツアー（40名）
		<u>7月</u>	・青少年派遣バーリントン市を訪問（30名：引率5名） ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー（15名）
<u>1995年</u>	<u>(H7年)</u>	<u>10月</u>	・バーリントン市代表団〔議員（市長代理）ほか2名〕及び市民劇団（59名）が板橋区を訪問し、区民まつりにミュージカル「赤毛のアン」を上演（劇団員48名がホームステイ）
		<u>3月</u>	・バーリントン市より「石」のプレゼント（バーリントン広場に設置）
		<u>6月</u>	・区民ツアー（40名）
		<u>7月</u>	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問（約20名） ・バーリントン市英語研修（16名）
<u>1996年</u>	<u>(H8年)</u>	<u>11月</u>	・バード前市長一行（4名）が板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・板橋区よりバーリントン市へ「板橋」を寄贈、区民ツアー（40名）

		<u>7月</u>	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問 (30名：引率4名) ・バーリントン市英語研修 (16名)
<u>1998年</u>	<u>(H10年)</u>	<u>2月</u>	・区立美術館で「カナダの現代セラミックアート展」開催 (バーリントンアートセンターの収蔵品を展示)学芸員ほか3名が板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・区民ツアー (41名)
		<u>7月</u>	・板橋区の子供がバーリントンでの国際スポーツ大会に参加 (子ども8名、保護者2名、引率1名) ・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問 (約20名) ・バーリントン市英語研修 (16名)
<u>1999年</u>	<u>(H11年)</u>	<u>6月</u>	・姉妹都市提携10周年を記念してオンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を開催 ・代表団、文化団体、区民ツアーがバーリントン市訪問 (総勢107名) ・文化団体 (和太鼓、三曲、和風) がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに出演
		<u>7月</u>	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問 (25名：引率4名) ・バーリントン市英語研修 (16名)
		<u>10月</u>	・姉妹都市提携10周年を記念して、バーリントン市代表団 (市長ほか10名) 及び市民タップダンスグループ「ザ・フットノーツ」が板橋区を訪問、区民まつりに参加(計26名) ・「バーリントン市友好時計」の寄贈を受ける(板橋区役所庁舎前に設置)
<u>2000年</u>	<u>(H12年)</u>	<u>6月</u>	・区民ツアー (32名)
		<u>7月</u>	・バーリントン国際スポーツ大会へ板橋区少年サッカー連盟と少女バレーボールチームが参加 (子ども：23名、監督・コーチ：9名、引率：2名)
<u>2001年</u>	<u>(H13年)</u>	<u>9月</u>	・板橋区文化団体訪問ツアーがバーリントン市を訪問 (神田流神明囃子保存会 (16名)、板橋区演奏家協会(11名))
<u>2002年</u>	<u>(H14年)</u>	<u>4月</u>	・バード元市長一行 (6名) が板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・区民ツアー (34名)
		<u>8月</u>	・バーリントン国際スポーツ大会へ板橋区少年サッカー代表チームが参加 (子ども：14名、監督・コーチ：4名)
<u>2003年</u>	<u>(H15年)</u>	<u>9月</u>	・区民ツアー (28名)
		<u>10月</u>	・マックアイザック市長一行 (2名) が板橋区を訪問 ・バーリントン市民ツアー一行 (40名) が板橋区を訪問
<u>2004年</u>	<u>(H16年)</u>	<u>6月</u>	・姉妹都市提携15周年を記念して、区代表団、文化団体、区民ツアーがバーリントン市を訪問 (総勢79名) ① バーリントン市役所での「板橋区紹介写真展」の開催 ② サウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルへの「いたばしまつり屋台」の出店 ③ 文化団体 (萩原正義里神楽社中) の神楽公演等 ・代表団・文化団体・市民ツアー (55名) が板橋区を訪問
		<u>10月</u>	・美術展を板橋区へ招聘しグリーンホールで開催、区民まつりへの参加等様々な記念行事を実施
<u>2005年</u>	<u>(H17年)</u>	<u>6月</u>	・区民ツアー (19名)
<u>2006年</u>	<u>(H18年)</u>	<u>6月</u>	・バーリントン国際スポーツ大会へ少女バレーボールチームが参加 (高校生：21名、監督・コーチ：2名、保護者：3名)
<u>2007年</u>	<u>(H19年)</u>	<u>6月</u>	・クラークスデール小学校と区立富士見台小学校間で凧・折り紙交流

		<u>8月</u>	・バーリントン市中央図書館より区立中央図書館へ図書・DVDの寄贈(58点)
		<u>10月</u>	・「姉妹都市カナダ・バーリントン市フェア」を実施(10月5日～10月12日)
		<u>11月</u>	・板橋区立中央図書館よりバーリントン市中央図書館へ図書寄贈(61点)
<u>2008年</u>	<u>(H20年)</u>	<u>7月</u>	・ブルース・T・リンドリー小学校と区立富士見台小学校間で手紙交流
		<u>9月</u>	・議員団がバーリントン市を訪問
<u>2009年</u>	<u>(H21年)</u>	<u>2月</u>	・バーリントン・ティーン・ツアー・バンド代表者が板橋区を訪問
		<u>7月</u>	・St. Marks 小学校と区立富士見台小学校間でDVD交流 ・姉妹都市提携20周年を記念して、バーリントン市代表团(市長ほか6名)及び市民ツアー(12名)、バーリントン・ティーン・ツアー・バンド(総勢約230名)が板橋区を訪問、花火大会や演奏会、交流会に参加 ・バーリントン市よりベニカエデの寄贈を受ける(板橋区役所庁舎前植込みに植樹)
		<u>9月</u>	・姉妹都市提携20周年を記念して、区代表团(区長ほか8名、区民ツアー(20名)、文化団体(12名)がバーリントン市を訪問 ・板橋区よりバーリントン市へ桜の木を寄贈(ローリー・バード・パークに植樹)
<u>2011年</u>	<u>(H23年)</u>	<u>3月</u>	・バーリントン市内小学校3校と、区立前野小学校間で生徒の作品交流
		<u>4月</u>	・バーリントン市長より、東日本大震災に対する見舞い状が届く
		<u>5月</u>	・バーリントン市内小学校3校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
<u>2012年</u>	<u>(H24年)</u>	<u>3月</u>	・板橋区立中央図書館よりバーリントン市中央図書館へ図書寄贈(23点)
		<u>4月</u>	・バーリントン市中央図書館より区立中央図書館へ図書寄贈(17点)
		<u>6月</u>	・バーリントン市内小学校2校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>9月</u>	・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立城北中・高等学校写真部間で写真交流
<u>2013年</u>	<u>(H25年)</u>	<u>6月</u>	・フローレンス・メアレス小学校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>11月</u>	・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立城北中・高等学校写真部、東京家政大学写真部間で写真交流
<u>2014年</u>	<u>(H26年)</u>	<u>5月</u>	・バーリントン市公式訪問団(副市長ほか6名)及び市民ツアー(21名)が板橋区を訪問、サトウカエデ記念植樹式、歓迎行事等に参加 ・ライアーソン小学校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>6月</u>	・区代表团(区長ほか8名)と文化団体がバーリントン市を公式訪問、歓迎行事等に参加。郷土資料館所蔵の鎧と浮世絵をアート・ギャラリー・オブ・バーリントンにて展示。
		<u>7月</u>	・区内在住の高・大学生(9名)がバーリントン市を訪問、英語研修とホームステイを実施(7月27日～8月8日)
<u>2015年</u>	<u>(H27年)</u>	<u>5月</u>	・St. Marks 校と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>10月</u>	・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立日本大学豊山女子高等学校写真部間で写真交流
<u>2016年</u>	<u>(H28年)</u>	<u>4月</u>	・バーリントン市私学校(Trinity Christian School)と区立若木・蓮根・板橋第十小学校間で生徒の作品交流

<u>2017年</u>	<u>(H29年)</u>	<u>4月</u>	・Elizabeth Seton School と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>11月</u>	・M. M. Robinson high School と大東文化大学第一高等学校間で文通交流 ・バーリントン市世界化委員会板橋支部長が板橋区を訪問。 ・バーリントン市世界化委員会板橋支部長が板橋区を訪問。
<u>2018年</u>	<u>(H30年)</u>	<u>4月</u>	・Sir Ernest McMillan と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>10月</u>	・M. M. Robinson high School と大東文化大学第一高等学校間で文通交流
<u>2019年</u>	<u>(令和元年)</u>	<u>4月</u>	・Tecumseh School と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>6月</u>	・区代表団（区長ほか7名）がバーリントン市を公式訪問。板橋ガーデンオープニングセレモニー、カナダデイ（建国記念日）イベントに参加。
		<u>8月</u>	・青少年ホームステイツアーを実施（10名、8月14日～21日）
		<u>9月</u>	・M. M. Robinson high School と東京家政大学付属附属女子高等学校間で文通交流
		<u>10月</u>	・バーリントン市公式訪問団（市長ほか7名）及び市民訪問団（16名）が板橋区を訪問、ホームステイ・区民まつり参加等で区民交流 ・ワークショップ「カナダの先住民族のお守り“ドリームキャッチャー”を作ろう！」
<u>12月</u>	・カナダ文化紹介講座		
<u>2020年</u>	<u>(R2年)</u>	<u>11月</u>	・M. M. Robinson high School と東京家政大学附属女子高等学校間で文通交流
<u>2021年</u>	<u>(R3年)</u>	<u>4月</u>	・Frontenac Public School と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>11月</u>	・M. M. Robinson high School と東京家政大学附属女子高等学校間で文通交流
<u>2022年</u>	<u>(R4年)</u>	<u>5月</u>	・Frontenac Public School 及びTrinity Christian School と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		<u>11月</u>	・M. M. Robinson high School と東京家政大学附属女子高等学校間で文通交流

## 4-2 モンゴル国との交流の経緯

板橋区は、1992年に当時紙不足で困っていたモンゴル国にノートや鉛筆を贈った。ノートと鉛筆から始まった交流は、その後、文化交流及び人的交流へと発展した。

そして、こうした交流をさらに発展させるために、1996年10月モンゴル国文部省（現：教育科学省・文化省）との間で「文化・教育交流協定」を締結した。



### ○モンゴル国の概要



人 口	329万6,866人 (2019年統計)
面 積	156万4,100km <sup>2</sup> (日本の面積の約4倍)
位 置	中国とロシアの間
首 都	ウランバートル
ことば	モンゴル語
民 族	モンゴル人(全体の95%)、 カザフ人など
宗 教	チベット仏教(ラマ教)など
気 候	7月の平均気温: 17℃ 1月の平均気温: -25℃
時 差	-1時間
モンゴル国教育科学省のHP	<a href="http://www.meds.gov.mn/">http://www.meds.gov.mn/</a>
モンゴル文化省のHP	<a href="https://moc.gov.mn/en">https://moc.gov.mn/en</a>

### ○交流の経緯

1992年 (平成4年)	7月	・ノート・鉛筆の贈呈式(ノート:10万冊、鉛筆:5万本)
	11月	・馬頭琴演奏会(成増アクトホール)
1993年 (H5年)	2月	・辞書3万冊、鉛筆16万本を贈呈
	4月	・ノート15万冊、鉛筆8万6千本を贈呈
	7月	・石塚区長がモンゴル国を訪問
	8月	・モンゴル写真展(区役所区民ホール)
	10月	・「オユンナ」コンサート(ミス区民まつりコンテストに出演) ・区民まつりでモンゴル物産展(ゲルの展示)の開催
1994年 (H6年)	11月	・モンゴル国首相夫人が金沢小学校を訪問
	1月	・小学校1年生の教科書6万冊を贈呈
	6月	・ウツィークツァグ教育科学大臣が区長表敬及び志村三小を訪問
	8月	・ジャバンダ教育科学副大臣が区長を表敬訪問 ・モンゴル支援実行委員会がモンゴル国を訪問
1995年 (H7年)	10月	・モンゴル国大統領府長官が区長を表敬訪問
	1月	・板橋区とモンゴルを結ぶ「こどもたちの絵画展」の開催 (区役所区民ホール)

- 3月 ・ノート 10 万冊、絵本 2 千冊を贈呈
- 5月 ・小学校 4 年生の教科書 6 万冊、絵本 8 千冊を贈呈
- 7月 ・モンゴル国地方公務員が区内でホームステイ  
 ・板橋区議会友好交流訪問団がモンゴル国を訪問  
 ・大恐竜展（教育科学館）を開催
- 10月 ・区民まつりでモンゴル物産展（板橋一中体育館：ゲル展示）を開催
- 11月 ・ゴムボスレン外務大臣と区長が会見
- 1996 年    (H8 年)
- 2月 ・ノート 10 万冊を贈呈
- 5月 ・モンゴル国大火災に救援金 185 万円
- 7月 ・区民ツアー（35 名）
- 10月 ・モンゴル国地方公務員が区役所で研修（3 月まで）  
 ・モンゴル国ルハグバジャブ文部大臣が区長を表敬訪問
- 10月19日 ・**モンゴル国文部省と「文化・教育交流協定」締結**  
 （板橋区立文化会館にて）  
 ・モンゴル民族音楽コンサート（文化会館大ホール）
- 11月 ・バーサンジャブウランバートル市議会議長が区長を表敬訪問
- 1997 年    (H9 年)
- 4月 ・区長が駐日モンゴル国大使を表敬訪問  
 （難病の赤ちゃんにお見舞い金 10 万円：国際交流協会より）
- 7月 ・区民ツアー（38 名）  
 ・区立中学生（24 名、引率 5 名）がモンゴル国を訪問
- 8月 ・日蒙友好議員連盟（8 名）がウランバートル市における日蒙国交樹立 25 周年記念行事に参加
- 10月 ・モンゴル相撲力士が、区民まつり（板橋一中体育館）、赤塚三中、志村三小を訪問し、モンゴル相撲を紹介  
 ・モンゴル国幼稚園教師が、区立保育園で研修（3 月まで）  
 ・モンゴル国立外国語大学で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
- 11月 ・ウランバートル市内の孤児院へ洋服を送付
- 12月 ・モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサート（文化会館大ホール）
- 1998 年    (H10 年)
- 4月 ・オユンビレグ大統領夫人と区長が会見
- 5月 ・オユンビレグ大統領夫人、ガンディマー駐日モンゴル国大使夫人が区長を表敬訪問及び教育科学館、志村三小を訪問  
 ・「人のための基金」に寄付金 60 万円  
 ・駐日モンゴル国大使、ナランツァツラルトウランバートル市長が区長を表敬訪問  
 ・モンゴル仏教美術展（区立美術館 5 月 30 日～ 7 月 5 日）を開催
- 10月 ・モンゴル国幼稚園教師が区立保育園で研修（3 月まで）  
 ・モンゴル国立人文大学（旧外国語大学）で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
- 1999 年    (H11 年)
- 3月 ・モンゴルクラシック音楽レクチャーコンサート（文化会館小ホール）
- 7月 ・再生自転車 200 台をウランバートル市に贈呈  
 ・区民ツアー（38 名）が再生自転車の贈呈式に参列  
 ・モンゴル国立人文大学（旧外国語大学）で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給

<u>2000年</u>	<u>(H12年)</u>	<u>2月</u>	・モンゴル国文部大臣が区長を表敬訪問
		<u>3月</u>	・ウランバートル市長が区長を表敬訪問
		<u>6月</u>	・ウランバートル市職員が区交通対策課で自転車の組立て・修理等を研修
		<u>7月</u>	・再生自転車200台をウランバートル市に贈呈
		<u>10月</u>	・ウランバートル市付属教育作業センターへ古着(23,000着)と靴(2,202足)を送付
<u>2001年</u>	<u>(H13年)</u>	<u>1月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給 ・モンゴル国地方行政官11名が区長を表敬訪問
		<u>5月</u>	・モンゴル国教育文化科学大臣(アールザン・ツァグド)が区長を表敬訪問
		<u>7月</u>	・区民ツアー(22名)、いたばし風の愛好会(6名)が訪問 ①モンゴル人文大学の奨学生による日本語発表会 ②ウランバートル市付属教育作業センター児童との交流
		<u>8月</u>	・モンゴル・ドキュメンタリー上映会
		<u>10月</u>	・区民まつりで協定締結5周年記念「モンゴルフェア」を開催 ①モンゴル相撲、留学生との交流 ②モンゴル・民族舞踊音楽コンサート
		<u>2002年</u>	<u>(H14年)</u>
		<u>2月</u>	・モンゴル教育文化科学省副大臣が区長を表敬訪問
		<u>3月</u>	・ウランバートル第18中学校にノートパソコン6台、プリンター1台寄贈
		<u>7月</u>	・再生自転車200台をウランバートル市に贈呈
<u>2003年</u>	<u>(H15年)</u>	<u>1月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給 ・再生自転車100台をウランバートル市に贈呈 ・ウランバートル市付属教育作業センターへ衣類(7,571着)、靴(655足)、ピアニカを贈呈
		<u>6月</u>	・ウランバートル市付属教育作業センターへ衣類(10,045着)、靴(544足)、ノート(5,040冊)、鉛筆(240ダース)を贈呈
		<u>10月</u>	・外務省長期招聘制度 モンゴル研修生の受入れ(～2004年2月)
		<u>12月</u>	・モンゴル国元首相が区長を表敬訪問
		<u>2004年</u>	<u>(H16年)</u>
<u>2005年</u>	<u>(H17年)</u>	<u>12月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
		<u>2月</u>	・モンゴル国教育文化科学大臣一行が区長を表敬訪問
		<u>6月</u>	・モンゴル国産業通商省局長区内企業視察
		<u>7月</u>	・区民ツアー(19名) ①教育文化科学大臣を表敬訪問 ②国立人文大学の学生による日本語発表会・交流 ③ウランバートル市付属教育作業センター児童と交流
		<u>10月</u>	・教育文化科学省へ再生自転車(100台)、カメラ等(93台)、パソコン(10台)、児童書(4200冊)、中学校教科書(280冊)、ミシン(16台)、鍵盤式ハーモニカ(86台)、オルガン(4台)、太鼓(3台)、ラジカセ(5台)、乾燥米(非常食)464箱、衣類(3箱)贈呈
<u>2006年</u>	<u>(H18年)</u>	<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
		<u>2月</u>	・モンゴルトップマネージャーセミナー参加者(団長:バットゥバヤル・ウランバートル市長)との懇談会

			・チョイ・ロブサンジャブ名称言語文明大学ソヨンボ学長が区長を表敬訪問
		<u>3月</u>	・モンゴル国首相夫人が区長を表敬訪問
		<u>6月</u>	・協定締結10周年記念「モンゴルフェア」を実施
		<u>7月</u>	・区代表団、文化団体がモンゴル国を訪問
		<u>9月</u>	・ウランバートル市議会一行が板橋区を訪問
			・再生自転車(100台)、鉛筆、ノート、衣類、靴、パソコン(120台)、楽器等を寄贈
		<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2007年</u>	<u>(H19年)</u>	<u>1月</u>	・板橋区内の小学校に馬頭琴10棹の寄贈を受ける
		<u>7月</u>	・再生自転車(100台)、キーボード(5台)、太鼓(3台)、木琴(3台)、鍵盤式ハーモニカ(86台)、非常食(150箱)、パソコン(150台)等を寄贈
		<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2008年</u>	<u>(H20年)</u>	<u>7月</u>	・オリンピックのモンゴルレスリングチームが志村三小を訪問し、児童と交流
		<u>10月</u>	・再生自転車(50台)、鍵盤式ハーモニカ(103台)、キーボード(2台)、ランドセル(46個)、衣類(31箱)、タオル(4箱)、鉛筆(2箱)、顕微鏡(9台)、ノート(120箱)、等を贈呈
		<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2009年</u>	<u>(H21年)</u>	<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
		<u>12月</u>	・モンゴル国にある孤児院「太陽の子ども達」の児童来日に伴い、「板橋モンゴルチャリティコンサート」をグリーンホールで実施
<u>2010年</u>	<u>(H22年)</u>	<u>6月</u>	・志村第三小学校のモンゴル教室にゲル(モンゴルの住居)の寄贈を受ける
		<u>11月</u>	・モンゴル国大統領 Ts. エルベグドルジ氏の来日歓迎レセプションに、板橋区長が出席
			・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2011年</u>	<u>(H23年)</u>	<u>4月</u>	・モンゴル国教育文化科学省より東日本大震災に対する見舞い状が届く
		<u>7月</u>	・区民ツアー(20名)がモンゴル国を訪問、当財団が奨学金を支給している大学生や、児童養護施設である教育作業センターの子どもたちとの交流を行った。
		<u>11月</u>	・協定締結15周年記念「モンゴルフェア2011」を実施
			・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2012年</u>	<u>(H24年)</u>	<u>8月</u>	・ウランバートル市ハンオール区議会一行が板橋区を訪問
		<u>11月</u>	・モンゴル国立人文大学(旧外国語大学)で日本語を学ぶ学生に奨学金を支給
<u>2013年</u>	<u>(H25年)</u>	<u>6月</u>	・駐日モンゴル国特命全権大使が板橋区役所・志村第三小学校を訪問
		<u>9月</u>	・モンゴル国首相夫人・駐日モンゴル国特命全権大使夫人が志村第三小学校を訪問
<u>2014年</u>	<u>(H26年)</u>	<u>3月</u>	・印刷関連団体が集めた寄付金によって、モンゴル人文大学で日本語を学ぶ学生たちに日本語辞書等を贈呈
<u>2015年</u>	<u>(H27年)</u>	<u>1月</u>	・印刷関連団体が集めた寄付金によって、モンゴル人文大学で日本語を学ぶ学生たちに日本語辞書等を贈呈
		<u>10月</u>	・モンゴル・ブフ・クラブとの共催により「板橋モンゴル文化交流会 第22回ブフ大会」を実施
		<u>12月</u>	・印刷関連団体が集めた寄付金によって、モンゴル人文大学で日本語を学ぶ学生たちに日本語辞書等を贈呈
<u>2016年</u>	<u>(H28年)</u>	<u>4月</u>	・区代表団(区長ほか9名)が公式訪問。教育文化科学スポーツ省、ウランバートル市を表敬訪問、学校関連視察などを実施
		<u>5月</u>	・新モンゴル学園ジャンチブ・ガルバドラッハ理事長らが区長を表敬訪問、板橋第一小学校を視察
		<u>8月</u>	・青少年モンゴル国訪問ツアー(26名)がモンゴル国を訪問、国立人文大学やウ

			ランバートル市青少年育成特別教育センター、新モンゴル小中高一貫学校を訪問し、現地の学生や子どもたちと交流した。
			・板橋区印刷関連団体協議会の寄付により国立人文大学、ウランバートル市青少年育成特別教育センターにノートを贈呈
		<u>10月</u>	・協定締結 20 周年記念イベント「バヤルラーモンゴル！～ありがとうモンゴル！～」を実施。イベント期間中に、モンゴル児童保護施設「太陽の子どもたち」ミニコンサートを行い志村第三小学校と歌で交流を行った。
			・無料コンサート「モンゴル国立馬頭琴交響楽団 JAPAN TOUR 2016」を実施
<u>2017年</u>	<u>(H29年)</u>	<u>1月</u>	・モンゴル国児童 13 名が高島第二小学校を訪問し交流
		<u>2月</u>	・モンゴル国教育文化科学スポーツ省（大臣ほか 5 名）が公式訪問。区長表敬訪問、田遊び視察、歓迎夕食会を実施
		<u>3月</u>	・JICA 国別研修「モンゴル国地震防災能力向上プロジェクト」受入
			・板橋モンゴル文化交流会&第 23 回モンゴル相撲大会の実施を予定していたが、台風の影響により中止
<u>2018年</u>	<u>(H30年)</u>	<u>9月</u>	・モンゴル・ブフ・クラブとの共催により、「板橋モンゴル文化交流会&第 23 回モンゴル相撲大会」を実施
<u>2019年</u>	<u>(令和元年)</u>	<u>10月</u>	・モンゴル・ブフ・クラブとの共催により「板橋モンゴル文化国際交流会&第 24 回モンゴル相撲大会」の実施を予定していたが、台風の影響により中止
<u>2021年</u>	<u>(R3年)</u>	<u>9月</u>	・青少年オンライン交流（大東文化大学第一高等学校 11 名、新モンゴル小中高一貫学校 9 名）
		<u>10月</u>	・協定締結 25 周年記念イベント「サインバイノー（こんにちは）！モンゴル！」を実施。モンゴル料理フェアやモンゴル文化紹介講座を行った。
<u>2022年</u>	<u>(R4年)</u>	<u>12月</u>	・モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサートの開催 区制施行 90 周年、日モ国交樹立 50 周年、また前年の「文化・教育交流協定」締結 25 周年を記念し文化会館大ホールにて開催

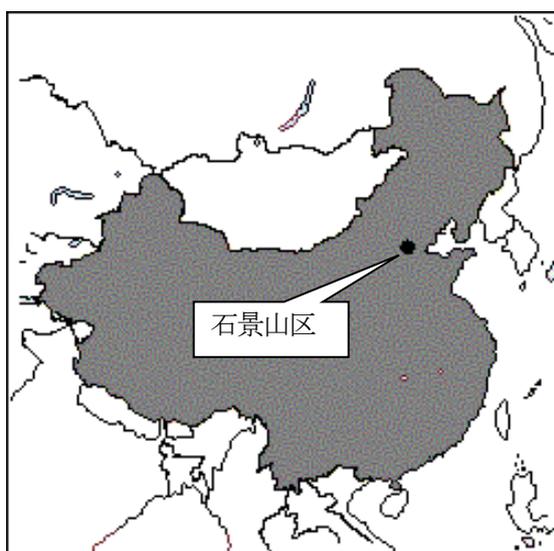
### 4 - 3 北京市石景山区との交流の経緯

1992年より始まった石景山区との交流は、日中国交正常化25周年にあたる1997年に友好交流・協力関係に関する合意書に調印した。

石景山区訪問区民ツアーをはじめ、相互の書画展の開催や小学校の学校交流など、区民レベルでの交流が広がっている。



#### ○石景山区の概要



人 口 約639,000人 (2017.12)  
 民 族 漢民族が大多数を占めるが、蒙古・イスラム系・満州・朝鮮等40民族で構成される  
 位 置 北京市の西部  
 (天安門から西へ16km。地下鉄で25分)  
 面 積 84.38km<sup>2</sup> (板橋区の2.6倍)  
 気 候 7月の平均気温：27.5℃  
 1月の平均気温：-0.4℃  
 その他 現代的な工業区であるとともに、観光レジャー区や住みやすい文明区としての発展をめざしている。  
 石 景 山 区 HP <http://www.bjsjs.gov.cn/>

#### ○交流の経緯

1992年	(平成4年)	10月	・中国訪問調査団が北京市石景山区を訪問
1993年	(H5年)	4月	・石景山区友好代表団が板橋区を訪問
		7月	・石塚区長が石景山区を訪問
1994年	(H6年)	7月	・自民党区議団が石景山区を訪問
1995年	(H7年)	10月	・板橋区卓球連盟が石景山区を訪問 ・区民友好代表団が石景山区を訪問
1996年	(H8年)	9月	・区日中友好議員連盟が石景山区を訪問
		10月	・石景山区議長が板橋区を訪問
1997年	(H9年)	3月	・石景山区訪日代表団が板橋区を訪問
		10月8日	・石景山区と友好交流・協力関係に関する合意書調印 (石景山区人民政府内にて) 【調印団：区長、区議会議長ほか11名】
		12月	・石景山区訪問団(陳文占区長ほか5名)が板橋区を訪問 (友好都市提携記念植樹式及びエコポリスセンター・前野小学校訪問)

<u>1998年</u>	<u>(H10年)</u>	<u>9月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区友好訪問団（6名）が板橋区を訪問</li> <li>・区民ツアー（40名）が石景山区を訪問</li> </ul>
<u>1999年</u>	<u>(H11年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区書道展を開催（1月7日～1月12日）</li> <li>・石景山区教育局長が板橋区を訪問</li> </ul>
		<u>7月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ツアー（38名）が石景山区を訪問</li> </ul>
		<u>8月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区外事弁公室主任が板橋区を訪問</li> </ul>
<u>2000年</u>	<u>(H12年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区文化芸術交流団（6名）が板橋区を訪問</li> </ul>
		<u>2月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区書道展を開催（2月1日～2月4日）</li> </ul>
		<u>3月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区立金沢小学校児童絵画作品を石景山区実験小学校で展示</li> </ul>
		<u>5月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区吹奏楽団（43名）が石景山区を訪問</li> </ul>
		<u>10月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ツアー（30名）が石景山区を訪問</li> <li>・板橋区民写真展を石景山区図書館で開催（10月12日～10月26日）</li> </ul>
		<u>11月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区代表団が板橋区を訪問（11月6日）</li> </ul>
<u>2001年</u>	<u>(H13年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区写真展を開催（1月10日～1月16日）</li> </ul>
		<u>4月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区議長（王建国）一行（6名）が板橋区を訪問</li> </ul>
		<u>12月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区書道展を石景山区東部活動センターで開催（12月15日～12月21日）</li> </ul>
<u>2002年</u>	<u>(H14年)</u>	<u>2月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区書道展を開催（2月1日～2月8日）</li> </ul>
		<u>7月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携5周年を記念して、板橋区代表団（区長、区議会議長など14名）及び文化団体（板橋風の愛好会5名）が石景山区を訪問（友好都市提携5周年記念植樹及び区内施設視察）</li> </ul>
<u>2003年</u>	<u>(H15年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区写真展を開催（1月7日～1月10日）</li> <li>・板橋区書道展を石景山区文化館で開催（1月21日～1月27日）</li> </ul>
<u>2004年</u>	<u>(H16年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区実験小学校と板橋区立小学校2校（高島第一小学校、上板橋第四小学校）間で学校交流開始</li> <li>・石景山区実験小学校と板橋区立小学校2校（高島第一小学校、上板橋第四小学校）間で文通・ビデオ交流</li> </ul>
		<u>9月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区教育視察団（8名）が淑徳巣鴨中高校、上板橋第四小学校、高島第一小学校を訪問</li> </ul>
		<u>11月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区友好代表団（10名）が板橋区を訪問（上板橋体育館、成増図書館、老人保健施設エデルワイス、エコポリセンター視察）</li> </ul>
<u>2005年</u>	<u>(H17年)</u>	<u>2月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区写真展を開催（2月1日～2月7日）</li> </ul>
		<u>5月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区友好代表団（候玉蘭区長ほか5名）が板橋区を訪問</li> </ul>
		<u>8月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区中学生交流団が板橋区を訪問（いたばし花火大会を観覧）</li> </ul>
<u>2006年</u>	<u>(H18年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区作品展を開催（1月5日～1月12日）</li> </ul>
		<u>7月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区代表団・日中友好議員連盟が石景山区を訪問</li> </ul>
		<u>11月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区人民代表大会常務委員会副主任が板橋区を訪問</li> </ul>
<u>2007年</u>	<u>(H19年)</u>	<u>5月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座①を開催</li> </ul>
		<u>6月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座②を開催</li> </ul>
		<u>8月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座③を開催</li> </ul>
		<u>10月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座④を開催</li> </ul>
		<u>11月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石景山区代表団が板橋区を訪問し、いたばし産業見本市に出席</li> <li>・区民ツアー（25名）</li> </ul>
<u>2008年</u>	<u>(H20年)</u>	<u>1月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ホールで石景山区と板橋区の児童・生徒による平和の絵画展を開催（1月7日～1月11日）</li> </ul>
		<u>2月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座⑤を開催</li> </ul>
		<u>3月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市提携10周年記念事業 中国理解講座⑥を開催</li> </ul>

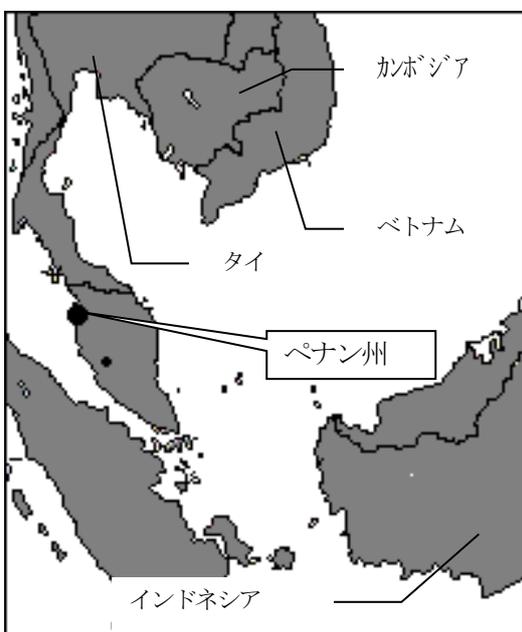
		<u>7月</u>	・板橋区公式訪問団（区長、議長）が石景山区を訪問（ペナン植物園訪問に際して）
<u>2009年</u>	<u>(H21年)</u>	<u>1月</u>	・区民ホールで石景山区水墨画展を開催（1月8日～15日）
		<u>5月</u>	・東京・北京市友好都市提携30周年を記念して、石景山区訪問団（15名）が板橋区を訪問
		<u>10月</u>	・区民ホールで、きりえと剪纸の作品展を開催（10月16日～21日）
		<u>12月</u>	・石景山区図書館で、きりえと剪纸の作品展を開催（12月23日～29日）
<u>2010年</u>	<u>(H22年)</u>	<u>11月</u>	・石景山区図書館で、板橋区民と石景山区民による「平和」をテーマにした写真展を開催（11月30日～12月3日）
<u>2011年</u>	<u>(H23年)</u>	<u>3月</u>	・イオン板橋店で、板橋区民と石景山区による「平和」をテーマにした写真展を開催（3月5日～13日）
		<u>4月</u>	・石景山区長より、東日本大震災に対する見舞状が届く
<u>2012年</u>	<u>(H24年)</u>	<u>6月</u>	・友好都市提携15周年記念事業 中国文化理解講座（中国茶芸体験講座）を開催
		<u>9月</u>	・友好都市提携15周年記念事業 石景山区風景写真展開催
<u>2013年</u>	<u>(H25年)</u>	<u>7月</u>	・北京師範大学励耘実験学校より北京市青少年キャラバン（石景山区中学生ら36名）が西台中学校を訪問、バレーボールで交流
		<u>11月</u>	・国際交流まつりにおいて、2013年に石景山区で開催された「千年北京城 靈秀石景山」撮影作品展の入選作品を展示
<u>2015年</u>	<u>(H27年)</u>	<u>2月</u>	・赤塚支所ギャラリーで、石景山区民撮影の写真展を開催（2月17日～25日） ・赤塚支所ギャラリーで、中国出身者による中国の伝統楽器「二胡」「中国琵琶」のデュオコンサートを開催（2月25日）
<u>2016年</u>	<u>(H28年)</u>	<u>2月</u>	・区役所情報スペースで、石景山区民撮影の写真展を開催（2月22日～26日） ・石景山区議員団（岳徳順議長を含む5名）が板橋区を訪問
		<u>4月</u>	・区役所区民イベントスペースで、石景山区民撮影の写真展を開催（4月11日～15日） ・石景山区公式訪問団（田利躍副区長含む7名）が板橋区を訪問
<u>2017年</u>	<u>(H29年)</u>	<u>7月</u>	・区役所区民イベントスペースで、中国出身者による「心にひびく二胡の調べ」ロビーコンサートを実施
		<u>8月</u>	・日中国交正常化45周年記念「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に中学生2名を派遣 ・板橋区公式訪問団（区長含む9名）が石景山区を訪問 ・友好都市提携20周年記念イベント「ニーハオ！石景山区」を開催
		<u>10月</u>	・書道連盟の協力により、区民の書道作品を交換。「ニーハオ！石景山区」および区民文化祭「書家作品展」で展示 ・中国茶体験講座 ・中国舞踊体験レッスン
<u>2018年</u>	<u>(H30年)</u>	<u>10月</u>	・石景山区政府・企業訪問団（肖平副区長含む7名）が板橋区を訪問
<u>2019年</u>	<u>(令和元年)</u>	<u>2月</u>	・区役所情報スペースで、石景山区民撮影の写真展を開催
		<u>7月</u>	・北京市青少年キャラバン（石景山区中高生ら40名）が板橋区を訪問
		<u>12月</u>	・石景山区訪問団（副区長含め7名）が板橋区を訪問。
<u>2020年</u>	<u>(R2年)</u>	<u>2月</u>	・区役所情報プロモーションスペースで、石景山区民撮影の写真展を開催
<u>2021年</u>	<u>(R3年)</u>	<u>2月</u>	・区役所プロモーションスペースで、石景山区民撮影の写真展を開催
<u>2022年</u>	<u>(R4年)</u>	<u>11月</u>	・「友好交流・協力関係に関する合意書」調印25周年記念事業として動画交流、オンライン周年記念事業の開催
		<u>2月</u>	・区役所プロモーションスペースで、石景山区民撮影の写真展を開催

#### 4-4 マレーシア・ペナン州との交流の経緯

板橋区とペナン州は、1994年9月21日区立熱帯環境植物館とマレーシア・ペナン州立ペナン植物園との間の「友好提携に関する共同声明」を調印している。



##### ○ペナン州の概要



人口 約1,766,800人(2018年)  
 位置 マレーシア半島の北西に位置する。  
 面積 1,046 km<sup>2</sup> (板橋区の32倍)  
 気候 熱帯性気候  
     昼間の平均気温 31℃  
     夜間の平均気温 22℃  
 産業 製造工業、観光、貿易、サービス業  
 言語 マレー語、英語、北京語、福建語、  
     広東語他

##### 《ペナン植物園》

ペナン植物園は、ペナンの東北部のジャングルにかこまれた谷の斜面を利用してつくられた約29ヘクタールの植物園である。園内には400種類以上の熱帯植物やランの温室、英国式の庭園などがある。

<http://botanicalgardens.penang.gov.my/index.php/en/>

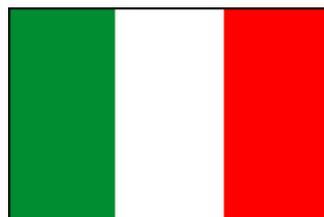
##### ○交流の経緯

1992年	(平成4年)	5月	・ペナン州政府代表団が板橋区を訪問
1994年	(H6年)	9月21日	・共同声明調印 (区立熱帯環境植物館内にて) ・ペナン州政府副長官ほか1名が板橋区を訪問
1995年	(H7年)	9月	・熱帯環境植物館開館1周年マレーシア特別展開催
		11月	・植物の交換事業 (ゾウコンニャク・イランイランなど12種)
1997年	(H9年)	3月	・ペナン植物園内に板橋コーナー設置
1998年	(H10年)	1月	・ペナン産ランの里親制度を発足
1999年	(H11年)	1月	・植物の交換事業
		5月	・板橋区古紙リサイクル鉢及び日本産ランをペナン植物園に寄贈
2000年	(H12年)	3月	・ペナン植物園の協力によりニッパヤシを輸入
		6月	・熱帯環境植物館温室内マレーハウス屋根のニッパヤシ葺き替え作業を来館者に公開
2002年	(H14年)	3月	・ペナン植物園より、ネジレフサマメの種子、フタバガキ科植物を輸入
2003年	(H15年)	8月～	・「50万区民で守ろう！マレーシアの熱帯林」をスローガンに板橋区商店街連合会と共催で植林募金を行う
		12月	・ペナン植物園に、絵手紙・植物画を贈呈
		9月	・ペナン植物園交流10周年を記念し、公式訪問団・区民交流団がペナン植物園及び州政府を訪問
2004年	(H16年)	12月	・ペナン植物園交流10周年を記念し、公式訪問団・区民交流団がペナン植物園及び州政府を訪問
2005年	(H17年)	1月	・スマトラ島沖地震によるペナン州津波災害に対する区及び区民からの義援金をマレーシア大使館へ持参

<u>2006年</u>	<u>(H18年)</u>	<u>4月～</u>	・板橋区商店街連合会と協力し、「ペナン植物園に日本庭園を贈ろう」募金の実施
		<u>6月</u>	
<u>2008年</u>	<u>(H20年)</u>	<u>7月</u>	・ペナン植物園内「日本庭園」竣工を記念し、公式訪問団、区民ツアーがペナン植物園を訪問
<u>2010年</u>	<u>(H22年)</u>	<u>9月</u>	・マレーシア観光大臣が板橋区を訪問、歓迎昼食会を実施
<u>2013年</u>	<u>(H25年)</u>	<u>11月</u>	・マレーシア特命全権大使、マレーシア投資開発庁副局長が産業見本市を訪問
<u>2014年</u>	<u>(H26年)</u>	<u>1月</u>	・マレーシア観光文化省大臣が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察及び歓迎夕食会実施
		<u>8月</u>	・「マレーシア・ペナンフェア」を実施
		<u>9月</u>	・「友好提携に関する共同声明」調印20周年を記念して、板橋区代表団（区長、議長、文化・国際交流課長）がペナン植物園を訪問（ユーカー記念植樹式、歓迎行事に出席、及び市内視察実施）
<u>2015年</u>	<u>(H27年)</u>	<u>8月</u>	・マハティール元首相が板橋区を訪問、歓迎昼食会を実施
<u>2016年</u>	<u>(H28年)</u>	<u>11月</u>	・駐日マレーシア特命全権大使が産業見本市訪問
<u>2017年</u>	<u>(H29年)</u>	<u>4月</u>	・クアラルンプール市長が板橋区を訪問、中台中学校訪問や歓迎昼食会を実施
		<u>8月</u>	・区内中学生23名をマレーシアへ派遣、異文化交流やホームステイ、ペナン植物園訪問などを実施
		<u>11月</u>	・マレーシア投資開発庁局長が産業見本市を訪問
<u>2018年</u>	<u>(H30年)</u>	<u>11月</u>	・熱帯環境植物館にてマレーシアデーを開催 駐日マレーシア次席大使夫妻が参加
			・マレーシア教育大臣が板橋区を訪問、板橋第一小学校視察
			・ペナン州通産大臣が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察
<u>2019年</u>	<u>(令和元年)</u>	<u>2月</u>	・ペナン州議員団・州政府が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察
		<u>12月</u>	・マレーシア国立大学と区内大学等とのMOU協定締結のため、マレーシア教育大臣が板橋区を訪問。
<u>2020年</u>	<u>(R2年)</u>	<u>11月</u>	・駐日マレーシア特命全権大使が板橋区を訪問、区内企業を視察
<u>2022年</u>	<u>(R4年)</u>	<u>5月</u>	・YABダト・スリ・イスマイル・サブリ・ビン・ヤーコブ首相及び閣僚が板橋区を訪問、板橋区とクアラルンプール市のSDGs推進ポスターに署名
		<u>8月</u>	・マレーシアオリンピック委員会会長兼バドミントン協会会長が訪問
<u>2023年</u>	<u>(R5年)</u>	<u>2月</u>	・マレーシア・サラワク州・ミリ市訪問団が板橋区を訪問、本庁舎と中央図書館視察

## 4 - 5 ボローニャ市との交流の経緯

区立美術館でボローニャ国際絵本原画展を実施して以来、イタリア・ボローニャ市との絵本を通じた交流が続き、2005年7月、「友好都市交流協定」を締結した。



### ○ボローニャ市の概要



人口	390,636人(2019年)
位置	北緯44度29分 東経11度21分
面積	140.73km <sup>2</sup> (板橋区の4.37倍)
気候	最高気温 38.2℃ 最低気温 -13.2℃
言語	主にイタリア語
時差	-8時間 (夏 -7時間)
産業	商工業、農業
ボローニャ市HP	<a href="http://www.comune.bologna.it/">http://www.comune.bologna.it/</a>
イタリア政府観光局のHP	<a href="http://visitaly.jp/travel/emilia-romagna/bologna">http://visitaly.jp/travel/emilia-romagna/bologna</a>

### ○交流の経緯

1981年	(昭和56年)		・第1回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1982年	(S57年)		・第2回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1983年	(S58年)		・第3回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1984年	(S59年)		・第4回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1985年	(S60年)		・第5回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1986年	(S61年)		・第6回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1987年	(S62年)		・第7回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1988年	(S63年)		・第8回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1989年	(平成元年)	4月	・栗原区長がボローニャ市を訪問
		6月	・第9回ボローニャ国際絵本原画展から区立美術館が幹事館になる
1990年	(H2年)	5月	・栗原区長がボローニャ市を訪問
		8月	・第10回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1991年	(H3年)	6月	・ボローニャ市のレダ・ロサ氏と、ブックフェア・プロジェクト・マネージャーのフランチェスカ・フェラーリ氏が板橋区を訪問
		8月	・第11回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1992年	(H4年)	4月	・石塚区長がボローニャ市を訪問
		6月	・ボローニャ市長レンツォ・インベーニ氏が板橋区を訪問
		8月	・第12回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
1993年	(H5年)	4月	・産業訪問団がボローニャ市を訪問

		<u>6月</u>	・ボローニャ歌劇場副理事長ジョルジョ・オルランディ氏が板橋区を訪問
		<u>7月</u>	・ボローニャ見本市協会総局長ルチアーノ・キッキ氏とブックフェア・プロジェクト・マネージャーのフランチェスカ・フェラーリ氏が板橋区を訪問
			・第1回ボローニャブックフェア
		<u>8月</u>	・第13回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>10月</u>	・ボローニャフェスタ
<u>1994年</u>	<u>(H6年)</u>	<u>7月</u>	・第2回ボローニャブックフェア
			・ボローニャフェスタ
		<u>8月</u>	・第14回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>1995年</u>	<u>(H7年)</u>	<u>7月</u>	・第3回ボローニャブックフェア
		<u>8月</u>	・第15回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>1996年</u>	<u>(H8年)</u>	<u>7月</u>	・第4回ボローニャブックフェア
		<u>8月</u>	・第16回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>1997年</u>	<u>(H9年)</u>	<u>7月</u>	・第5回ボローニャブックフェア
		<u>8月</u>	・第17回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>1998年</u>	<u>(H10年)</u>	<u>7月</u>	・第6回ボローニャブックフェア
		<u>8月</u>	・第18回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>9月</u>	・板橋区長がウオルター・ヴィターリ市長と会見
<u>1999年</u>	<u>(H11年)</u>	<u>7月</u>	・第7回ボローニャブックフェア
		<u>9月</u>	・第19回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>2000年</u>	<u>(H12年)</u>	<u>8月</u>	・第8回ボローニャブックフェア
			・第20回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>2001年</u>	<u>(H13年)</u>	<u>7月</u>	・第9回ボローニャブックフェア
			・第21回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>2002年</u>	<u>(H14年)</u>	<u>7月</u>	・第10回ボローニャブックフェア
			・第22回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
<u>2003年</u>	<u>(H15年)</u>	<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第23回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
			・ボローニャ見本市協会国際児童画展プロジェクトマネージャー、エレナ・パゾーリ氏が来訪
		<u>8月</u>	・第11回ボローニャブックフェア
<u>2004年</u>	<u>(H16年)</u>	<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第24回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第12回ボローニャブックフェア
		<u>9月</u>	・「いたばしボローニャ絵本館」開館
<u>2005年</u>	<u>(H17年)</u>	<u>4月</u>	・小島助役が友好都市調査のためボローニャ市を訪問
		<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月7日</u>	・ボローニャ市と「友好都市交流協定」締結(ボローニャ市にて)
			・第25回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>9月</u>	・第13回ボローニャブックフェア
<u>2006年</u>	<u>(H18年)</u>	<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>6月</u>	・ボローニャ市友好代表団が板橋区を訪問
		<u>7月</u>	・第26回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第14回ボローニャブックフェア

<u>2007年</u>	<u>(H19年)</u>	<u>11月</u>	・ボローニャ市友好代表団がいたばし産業見本市視察のため板橋区を訪問
		<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第27回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第15回ボローニャブックフェア
		<u>10月</u>	・ボローニャ市長特別秘書官が板橋区を訪問
<u>2008年</u>	<u>(H20年)</u>	<u>11月</u>	・区民ツアー（20名）がボローニャ市庁舎を表敬訪問、市民宅をホームビジットし、市民交流を実施
		<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第28回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第16回ボローニャブックフェア
		<u>1月</u>	・ボローニャ市民が板橋区を訪問
<u>2009年</u>	<u>(H21年)</u>	<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・ボローニャ市青少年コーラスグループが板橋区を訪問し、ギャラリーコンサートを実施
			・第29回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第17回ボローニャブックフェア
		<u>3月</u>	・常盤台小学校合唱団がボローニャ市を訪問
<u>2010年</u>	<u>(H22年)</u>	<u>5月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第30回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第18回ボローニャブックフェア
		<u>10月</u>	・「イタリア・ボローニャフェア」を第39回板橋区民まつりにおいて開催
		<u>11月</u>	・ボローニャ市暫定市長アンナマリア・カンチェリェーリ氏と国際交流担当フランチェスカ・マルティネーゼ氏が板橋区を訪問
<u>2011年</u>	<u>(H23年)</u>	<u>11月</u>	・区民ツアー（20名）がボローニャ市を訪問、市民宅へのホームビジットや常盤台小学校と交流のあるアルマンディ・アポーリ小学校を訪問
		<u>3月</u>	・ボローニャ市長より、東日本大震災に対する見舞状が届く
		<u>4月</u>	・ボローニャ市において、在住日本人市民グループを中心として「東日本大震災被災地支援チャリティーコンサート」及び日本文化を紹介するイベントが開催される
			・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>5月</u>	・4月のイベントで、復興の願いを込めて市民が折った千羽鶴が、ボローニャ市在住オペラ歌手 櫻田 亮氏から区長へ手渡され、大船渡市へ届けられる
<u>2012年</u>	<u>(H24年)</u>	<u>7月</u>	・第31回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第19回ボローニャブックフェア
		<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第32回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第20回ボローニャブックフェア
<u>2013年</u>	<u>(H25年)</u>	<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
			・第33回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第21回ボローニャブックフェア
<u>2014年</u>	<u>(H26年)</u>	<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施

		<u>7月</u>	・第34回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第22回ボローニャブックフェア
<u>2015年</u>	<u>(H27年)</u>	<u>5月</u>	・ボローニャ市公式訪問団（市長助役と国際交流・企画課長）が板橋区を訪問（5月28日～30日） ・10周年記念イベント「Ciao Bologna!」を実施（5月25日～29日）
		<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・区代表団（区長ほか9名）がボローニャ市を訪問 ・10周年記念事業 イタリアチーズ講座を実施 ・第35回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第23回ボローニャブックフェア
		<u>11月</u>	・いたばしウォーキング大会で、友好都市提携10周年記念ゼッケンを配付
<u>2016年</u>	<u>(H28年)</u>	<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第36回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第24回ボローニャブックフェア
<u>2017年</u>	<u>(H29年)</u>	<u>5月</u>	・ボローニャ大学国際交流担当者が国際交流にかかる区内大学との連携について意見交換のために板橋区を訪問
		<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第37回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第25回ボローニャブックフェア ・ボローニャ市市長役が板橋区を訪問
<u>2018年</u>	<u>(H30年)</u>	<u>2月</u>	・中央図書館改築に伴うボローニャギャラリーデザインコンテストをボローニャ市と協働開催、第一次審査をボローニャ市、第二次審査を板橋区で実施。2022年にコンテスト最優秀受賞者2名にイタリアと日本の往復航空券を贈呈、中央図書館を訪問
		<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第38回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第26回ボローニャブックフェア
		<u>10月</u>	・区役所1階にて日伊の精神障がいを持つ方のアート作品等の展示実施（区後援事業）、ボローニャ市市長助役、エミリア・ロマーニャ州立ボローニャ地域保健連合機構精神保健局長等訪問団が板橋区を訪問
<u>2019年</u>	<u>(令和元年)</u>	<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第39回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第27回ボローニャブックフェア
<u>2020年</u>	<u>(R2年)</u>	<u>6月</u>	・ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施
		<u>7月</u>	・第40回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第28回ボローニャブックフェア
		<u>10月</u>	・15周年記念イベント ボローニャ、アモーレ！（本庁舎1階での展示）
		<u>12月</u>	・15周年記念オンライントークイベント「Buono!イタリア～料理から知るイタリアの文化～」を実施
<u>2021年</u>	<u>(R3年)</u>	<u>3月</u>	・中央図書館にボローニャギャラリーを設置
		<u>7月</u>	・第41回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催
		<u>8月</u>	・第29回ボローニャブックフェア ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施

2022年 (R4年)

12月

・ボローニャギャラリーにてボローニャ在住イラストレーターヴァレリア・ヴァレンツァ企画展示

3月22日

・ボローニャ市立サラボルサ児童図書館と中央図書館の姉妹図書館提携締結

7月

・第42回ボローニャ国際絵本原画展を区立美術館で開催

8月

・第30回ボローニャブックフェア  
ミニ・ボローニャブックフェアを区立図書館で巡回実施

10月

・ボローニャギャラリーデザインコンテスト最優秀賞受賞者2名にイタリアと日本の往復航空券を贈呈、中央図書館訪問